

NEWS LETTER

No.



2005
DECEMBER

リウマチ

Newsletter of Japan College of Rheumatology



有限責任中間法人

日本リウマチ学会



非ステロイド性消炎・鎮痛剤 薬価基準収載

モービック®錠 5mg・10mg

Mobic® Tablets 5mg・10mg (メロキシカム製剤)

劇薬/指定医薬品

※効能・効果、用法・用量、禁忌および使用上の注意等については添付文書等をご参照ください。



販売元



第一製薬株式会社

資料請求先
〒103-8234 東京都中央区日本橋三丁目14番10号
ホームページアドレス
<http://www.daiichipharm.co.jp/>

製造販売元



Boehringer
Ingelheim

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
東京都千代田区築業町2丁目8番8号

127X180 I.05

体外診断用医薬品

リウマチの新しい見方

マトリックスメタロプロテイナーゼ-3

MMP-3

関節滑膜の活動性把握に血清又は血漿MMP-3

血清又は血漿
MMP-3

関節滑膜の増殖

X線写真
骨の破壊

リウマトイド因子
抗ガラクトース欠損IgG抗体等

免疫学的異常

CRP, 赤沈等
全身の炎症

健保適用

パナクリア® MMP-3 「ラテックス」

血清又は血漿中マトリックスメタロプロテイナーゼ-3測定用

販売元



第一化学薬品株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋三丁目13番5号

製造販売元



第一ファインケミカル株式会社



小川 亮恵
関西医科大学
常務理事

日本リウマチ学会と私

2005年5月、(中)日本リウマチ学会小池隆夫理事長からの本年4月の第49回(中)日本リウマチ学会総会において私を名誉会員に推薦したとの書状と名誉会員証を拝受した。私の評議員歴は長いが、学会活動は故森益太教授のもとでのリウマチの手術に関するものが主で、到底「名誉会員」に値するものではない。名誉会員への推挙は第39回総会会長を務めたことに因ると思う。したがって、このような栄を賜りありがたく思うと共に、内心恆惛たるものがある。

整形外科医はリウマチ医か？

1970年、リウマチ外科の第一人者K. Vainio教授は「滑膜切除の適応は内科医のLaine教授が保存的治療無効、滑膜切除を…と言われた例」と述べ、内科医との協力の重要性を強調した。1972年、ロンドン在住の友人に、リウマチの手術に熱心な外科医としてA. Kates、G. Arden、S. Harrisonらを紹介されたが、B. Ancellらにも紹介を願ったが「彼らは内科医である。日本ではリウマチ患者を整形外科医が診るのか。リウマチ性疾患を専門に診る内科医でも時には治療に難渋する」と言われた。以来、リウマチの認定医問題にも関連して、考えることが少なくない。リウマチの手術に長じた外科医の全てがリウマチの保存的治療に通暁している訳ではない。患者の全身状態を把握できるリウマチ医が整形外科医が行った手術の評価に加わることも無意味でない。

夢の日本リウマチ学会総会

随分昔のことだが、故森益太教授に「次期会長は先生だと専らの噂です。ぼつぼつ準備をされては」と勧めた方がいる。当時の学会の重鎮の一人に推薦を頼み、確信された先生は或る海外の病理学者の著書の一部を翻訳して、学会開催時に会員に進呈するつもりであったが、実現しなかった。その後、教室関係者の努力が認められてか、先代がその機会を逸したことが考慮されてか1995年の第39回日本リウマチ学会総会を開催する機会が与えられた。

準備半ばの大震災

学会の準備は着々と進んでいた。しかし、突如阪神淡路大震災が全てを変えた。今年度は開催を断念してはとの声もあると聞いた。コンベンション・サービスの努力で別の会場を予約した。しかし、採択済みの全講演をこなすには部屋数が不足していた。一旦採択した演題は取り消さない。但し、一般演題は一題3分とする。討論の時間も削減する。会長講演は取り消す。以上の条件をつけて、同年5月10日～12日大阪国際交流センターで総会を無事終えることが出来た。

JCR
2006

第50回(中)日本リウマチ学会総会・学術集会 第15回国際リウマチシンポジウム



会期：2006年4月23日(日)～26日(水)
会場：長崎ブリックホール、長崎新聞文化ホール、NCC & スタジオ、ウェルシティ長崎、
長崎県医師会館、ベストウェスタンプレミアホテル長崎(旧長崎プリンスホテル)
会長：江口勝美 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・制御学講座(第一内科)

1 主な日程(予定)

- | | |
|----------|---|
| 4月23日(日) | アニュアルコースレクチャー(8時～16時30分)
ランチョンセミナー(12時～13時)
理事会
評議員会
会員懇親会(会場：グラバー園 時間：19時～21時) |
| 4月24日(月) | 第50回日本リウマチ学会総会・学術集会(8時～18時)
第15回国際リウマチシンポジウム(9時～17時)
モーニングセミナー(8時～9時)
ランチョンセミナー(12時～13時)
イブニングセミナー(18時～21時) |
| 4月25日(火) | 第50回日本リウマチ学会総会・学術集会(8時～18時)
第15回国際リウマチシンポジウム(9時～17時)
ランチョンセミナー(12時～13時)
イブニングセミナー(18時～21時) |
| 4月26日(水) | 総会
第50回日本リウマチ学会総会・学術集会(8時～18時)
第15回国際リウマチシンポジウム(9時～17時)
ランチョンセミナー(12時～13時)
市民公開講座(14時～17時) |

2 アニュアルコースレクチャー

- 1) 早期リウマチの診断と関節破壊の予知
演者：江口勝美(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・制御学講座(第一内科) 教授)
座長：小池隆夫(北海道大学大学院医学研究科 病態内科学講座・第二内科 教授)
- 2) 生物学的製剤の最近の知見
演者：竹内 勤(埼玉医科大学総合医療センターリウマチ・膠原病内科 教授)
座長：山本一彦(東京大学大学院医学系研究科 アレルギーリウマチ学 教授)
- 3) RAと鑑別を要するリウマチ性疾患
演者：高杉 潔(道後温泉病院)
座長：尾崎承一(聖マリアンナ医科大学 リウマチ・膠原病・アレルギー内科 教授)
- 4) 膠原病の難治性病態
演者：猪熊茂子(都立駒込病院 アレルギー膠原病科 部長)
座長：住田孝之(筑波大学大学院人間総合科学研究科 先端応用医学専攻臨床免疫学 教授)
- 5) リウマチ性疾患の画像診断
演者：勝呂 徹(東邦大学医学部 整形外科 教授)
座長：宗園 聡(近畿大学医学部奈良病院 整形外科・リウマチ科 教授)
- 6) リウマチ性脊椎疾患の診断と治療
演者：米延策雄(独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター)
座長：豊島良太(鳥取大学医学部 整形外科 教授)
- 7) 小児期のリウマチ性疾患の診断・治療の進歩
～診断のガイドラインと生物学的製剤の適応～
演者：横田俊平(横浜市立大学大学院医学研究科 発生成育小児医療学 教授)
座長：伊藤保彦(日本医科大学 小児科 助教授)

3 学術プログラムに関する情報

(1) 国際シンポジウムプログラム予定

4月24日(月)			
午前	IS1 "Surgery in Rheumatoid Arthritis: Present Status and Future Perspective"		
	Chairman	Yukihide Iwamoto, Ryota Teshima	
	Speakers	Berbard F. Morrey, Clifford W. Colwell, Jr., Myung-Chul Yoo, Hisaaki Miyahara, Junnosuke Ryu, Kazuo Yonenobu	
午後	IS2 "New horizon in treatment of rheumatoid arthritis"		
	Chairman	Nobuyuki Miyasaka, Josef S. Smolen	
	Speakers	Josef S. Smolen, Wayne H. Tsuji, Joachim R. Kalden, Arthur F. Kavanaugh, Norihiro Nishimoto, Tsutomu Takeuchi	
4月25日(火)			
午前	IS3 "Rheumatoid arthritis: Early diagnosis & prediction of joint destruction"		
	Chairman	Ferdinand C. Breedveld, Stephan Gay	
	Speakers	Ferdinand C. Breedveld, Mark A. Quinn, William H. Robinson, Stephan Gay, Atsushi Kawakami, Hisashi Yamanaka	
午後	IS4 "Molecular basis of bone destruction and regulation in rheumatic disease"		
	Chairman	Hiroshi Takayanagi, Josef Penninger	
	Speakers	Josef Penninger, Steven R. Goldring, Edward P. Bowman, Toshihisa Komori, Akira Yamaguchi, Akihiko Yoshimura	
4月26日(水)			
午前	IS5 "Immunoregulation and autoimmune diseases"		
	Chairman	Shigeo Koyasu, Diane Mathis	
	Speakers	Shigeo Koyasu, Diane Mathis, Ethan Shevach, George C. Tsokos, Shimon Sakaguchi, Shizuo Akira	

(2) シンポジウムプログラム予定

(座長)

1	関節リウマチの経過と予後予測	江口勝美	山中 寿
2	生物学的製剤：有用性、治療反応性の予測、副作用	竹内 勤	田中良哉
3	新規治療薬の適正使用ガイドライン	近藤啓文	原まさ子
4	再生医療・骨髄移植のリウマチ性疾患への適応	久保俊一	渥美達也
5	全身性エリテマトーデス：発症の分子機序と新たな治療法	小池隆夫	長澤浩平
6	機能分子を標的にしたリウマチ性疾患の治療	山本一彦	住田孝之
7	リウマチ性疾患の難治性病態の診断と治療	横野博史	猪熊茂子
8	自己抗体の特異性と多様性	三森経世	高崎芳成
9	続発性骨粗鬆症の病態と治療	中村利孝	宗圓 聡
10	小児のリウマチ性疾患	横田俊平	武井修治
11	関節リウマチの手術療法：適応ガイドラインと予後	石黒直樹	中村孝志
12	変形性関節症：up to date	中村耕三	木村友厚

(3) フューチャードディスカッション

座長：江口勝美、小池隆夫

演者：安倍 達、京極方久、笹月健彦、松井宣夫、龍順之介、山本一彦

(4) プレナリーセッション：約10演題を募集演題より選出予定

(5) ワークショップ(口演)：募集演題より選出。約600演題を予定

(6) ポスター：募集演題より選出。約400演題を予定

(7) 市民公開講座

座長：江口勝美、小池隆夫

演者：宮坂信之、龍順之助、Peter Shane、厚生労働省

一般演題の採択通知

1月中旬までにはがきにて通知いたします。

その他ご案内は随時ホームページをご確認ください。

4 宿泊・航空券のご案内

下記ホームページよりお申込下さい。お申込受付は先着順とさせていただきます。
ホテル・航空便ともに満室(席)になり次第、締切とさせていただきます。

第50回(中)日本リウマチ学会総会・学術集会／第15回国際リウマチシンポジウム
専用宿泊・交通申込URL:
<http://apollo.nnta.co.jp/rheumatology-nagasaki>
※大会ホームページ(<http://www.congre.co.jp/jcr2006/>)からもアクセス可能です。

■お問い合わせ先

日本旅行 長崎支店
担当：古村(ふるむら)、樟(くのぎ)
長崎市五島町5番48号
TEL：095-824-9118 (大会専用) FAX：095-825-8552
E-mail：kazuya_furumura@nnta.co.jp

5 参加登録について

事前登録は行いません。懇親会以外は全て当日登録となります

参加登録費：アニュアルコースレクチャー	5,000円
学会参加費	15,000円
会員懇親会(事前予約)	3,000円

6 会員懇親会事前予約について

大会ホームページの「懇親会のご案内」より、オンラインにてお申し込み下さい。

事前申込締切 平成18年4月14日(金)

※定員になりしだい締め切らせていただきます。
当日受付もごさいますが、定員を超過した場合は、事前お申し込みの方を優先させていただきますので、
予めご了承下さい。

<https://www.congre.co.jp/jcr2006/social.html>

7 連絡先

学術集会事務局

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 病態解析・制御学講座(第一内科)
〒852-8501 長崎市坂本1-7-1
TEL：095-849-7260 FAX：095-849-7270
E-mail：jcr50@ml.nagasaki-u.ac.jp

運営事務局

株式会社コングレ九州支社内
〒810-0001 福岡市中央区天神1-9-17 ダヴィンチ福岡天神ビル5F
TEL：092-716-7116 FAX：092-716-7143
E-mail：jcr2006@congre.co.jp



羽生 忠正

長岡赤十字病院
リウマチ科・整形外科部長

新潟県中越地震と防災

平成16年10月23日土曜日午後5時56分に最大震度7直下型の新潟県中越地震が発生し、死者40人、重軽傷2,869人、住宅全壊2,572棟、半壊5,250棟、一部損壊57,717棟という大きな被害をもたらした。私が勤務する長岡赤十字病院は新潟県の基幹災害医療センターとして、また中越地区の救急救命センターの立場から、毎年「多数傷病者受け入れ訓練」を行っていた。平成16年度はちょうど1週間前に長岡市消防本部と共同で看護学生を患者にしたて、病院全部門をあげた救護訓練を行ったばかりだった。

傷病者の受け入れ体制は全て決まっていた。また、震度5以上の場合は自主登院することを決めていたので、地震発生後1時間で100名が、2時間で300名が駆けつけた。軽傷エリア（緑ゾーン）となるリハビリ室には発災30分の段階で簡易ベッド40台の設置を終えた。救急外来の入口がトリアージゾーンで、救命センターが黄・赤のゾーンとなる。24時間で296人が受診し、うち中等度以上が93人で、42人が入院となった。重傷者の比率が少なかった点と、救急搬送がゆっくりしたペースで進んだ点とが訓練の時と違っていて、訓練ほどの混乱はなかった。激しい余震のさなか、3階のアンギオ室では、ブロック塀の下敷きとなり、恥坐骨および仙腸関節脱臼骨折を起こした85歳の老女に内腸骨動脈塞栓術が行われ、一命を取り止めた例をはじめ、皆よくがんばった。

翌日（日曜日）の夜からは大学からの応援医師が夜勤につき、スタッフに休養をとらせることができた。予定手術をまず1週間中止し、被災者の外傷手術にあたった。残りの手術室スタッフをリハ室（軽傷治療室）と巡回診療に回すことで、震災関連の患者と一般予約外来とは区別して診療にあたることができた。しかし、72時間で72人が入院し、通常業務に戻すには退院先のベッドの確保が最重要課題となった。関節置換直後のリウマチ患者さんも、クリニカルパス通り、電気だけ復旧した被災住宅へ退院してもらおうほかなかった。

当院は平成9年に新築した地上12階建ての病院（700床）で新しい耐震基準で建てられていた。小千谷と十日町市の3つの病院は倒壊の危険のため入院患者を全員搬出している。先日NHKのアンケート調査で、全国の総合病院のうち震度6以上に耐える建物は1/3、地震に備えた防災訓練を実施している施設は17%にすぎないと報じている。箱ものはすぐには直せないが、多数傷病者受け入れ訓練の方は実施することで問題を共有し、備えていただきたい。

大規模災害時におけるリウマチ患者さんの支援のあり方について検討会がもたれている。「災害時リウマチ患者支援拠点医療機関」の立ち上げ、患者さんの方から連絡をとってもらおう防災教育の方向性が少しずつみえてきた。阪神淡路大震災や今回の中越地震の教訓を確実に生かしていかなければならない。

(中)日本リウマチ学会『教育施設』一覧

(中) 日本リウマチ学会専門医制度規則第14条により教育施設として認定されている施設は次の387施設 (2005年9月1日現在) です。
 なお、教育施設の募集および継続申請のお知らせは次号ニュースレターで掲載いたします。

一連 番号	認定 番号	施設名	郵便番号/住 所	電話番号	認定 年度	次回 更新年度
北海道						
1	1	北海道大学病院	060-8648 札幌市北区北15条西7丁目	011-716-1161	1989	2007
2	81	総合病院北見赤十字病院	090-8666 北見市北6条東2-1	0157-24-3115	1990	2008
3	82	札幌医科大学医学部附属病院	060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目291番地	011-611-2111	1990	2008
4	84	勤医協中央病院	007-8505 札幌市東区伏古10条2-15-1	011-782-9111	1990	2008
5	88	市立札幌病院	060-8604 札幌市中央区北11条西13丁目1-1	011-726-2211	1990	2008
6	216	札幌山の上病院リウマチ膠原病センター	063-0006 札幌市西区山の手6条9丁目1-1	011-621-1200	1995	2007
7	217	札幌社会保険総合病院	004-8618 札幌市厚別区厚別中央2条6丁目2-1	011-893-3000	1995	2007
8	246	市立釧路総合病院	085-0822 釧路市春湖台1-12	0154-41-6121	1998	2007
9	335	旭川医科大学附属病院	078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1	0166-68-2454	2001	2007
10	354	苫小牧市立総合病院	053-8567 苫小牧市本幸町1-2-12	0144-33-3131	2002	2008
11	398	国家公務員共済組合連合会斗南病院	060-0001 札幌市中央区北1条西6丁目	011-231-2121	2004	2007
12	432	※独立行政法人国立病院機構西札幌病院	063-0005 札幌市西区山の手5条7丁目1番地	011-611-8111	2005	2008
青森県						
13	115	青森県立中央病院	030-8553 青森市東造道2-1-1	017-726-8111	1991	2006
14	116	弘前大学医学部附属病院	036-8563 弘前市本町53	0172-33-5111	1991	2006
15	306	医療法人整友会弘前記念病院	036-8076 弘前市境関字西田59-1	0172-28-1211	2000	2006
岩手県						
16	2	岩手医科大学医学部附属病院	020-8505 盛岡市内丸19-1	019-651-5111	1989	2007
17	204	独立行政法人国立病院機構盛岡病院	020-0133 盛岡市青山1-25-1	019-647-2195	1994	2006
18	433	※独立行政法人労働者健康福祉機構岩手労災病院	025-0244 花巻市湯川字志戸平26番地	0198-25-2141	2005	2008
19	434	※社団法人医療法人橋内病院	020-0807 盛岡市肴町2-28	019-623-1316	2005	2008
20	435	※社会福祉法人恩賜財団済生会北上済生会病院	024-8506 北上市花園町1丁目6番8号	0197-64-7722	2005	2008
秋田県						
21	118	由利組合総合病院	015-8511 由利本荘市川口字家後38	0184-27-1200	1991	2006
22	183	秋田大学医学部附属病院	010-8543 秋田市本道1-1-1	018-834-1111	1993	2008
23	273	湖東総合病院	018-1605 南秋田郡八郎潟町川崎字員保37	018-875-2100	1999	2008
24	437	※特定医療法人明和会中通総合病院	010-8577 秋田市南通みその町3-15	018-833-1122	2005	2008
宮城県						
25	4	東北厚生年金病院	983-8512 仙台市宮城野区福室1-12-1	022-259-1221	1989	2007
26	5	独立行政法人労働者健康福祉機構東北労災病院	981-8563 仙台市青葉区台原4-3-21	022-275-1111	1989	2007
27	119	東北大学医学部附属病院	980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1	022-717-7000	1991	2006
28	272	独立行政法人国立病院機構西多賀病院	952-8555 仙台市太白区鉤取本町2丁目11番11号	022-245-2111	1999	2008
29	307	古川市立病院	989-6183 古川市千手寺町2丁目3-10	0229-23-3311	2000	2006
30	436	※石巻赤十字病院	986-8522 石巻市吉野町1-7-10	0225-95-4131	2005	2008
山形県						
31	120	山形大学医学部附属病院	990-9585 山形市飯田西2-2-2	023-633-1122	1991	2006
32	308	社会福祉法人恩賜財団済生会山形済生病院	990-8545 山形市沖町79-1	023-682-1111	2000	2006
33	440	※山形県立中央病院	990-2292 山形市青柳1800	023-685-2626	2005	2008
福島県						
34	6	福島県立医科大学医学部附属病院	960-1295 福島市光が丘1	024-547-1111	1989	2007
35	122	財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院	963-8558 郡山市西ノ内2-5-20	0249-25-1188	1991	2006
36	153	独立行政法人労働者健康福祉機構福島労災病院	973-8403 いわき市内郷横町沼尻3	0246-26-1111	1992	2007
37	184	財団法人湯浅報恩会寿泉堂総合病院	963-8585 郡山市駅前1-8-16	024-932-6363	1993	2008
38	274	福島第一病院	960-8251 福島市北沢又字成出16番地の2	024-557-5111	1999	2008
39	275	福島県厚生連塙厚生病院	963-5405 東白川郡塙町字大町1-5	0247-43-1145	1999	2008
40	309	財団法人大原総合病院	960-8611 福島市大町6-11	024-526-0300	2000	2006
41	337	福島赤十字病院	960-8530 福島市入江町11-31	024-534-6101	2001	2007
42	438	※済生会川俣病院	960-1406 伊達郡川俣町大字鶴沢字川端2-4	024-566-2323	2005	2008
43	439	※医療法人辰星会併病院	964-8567 二本松市本町1丁目103	0243-22-2828	2005	2008
東京都						
44	7	医療法人慈誠会上板橋病院	174-0071 板橋区常盤台4-36-9	03-3933-7191	1989	2007
45	8	慶應義塾大学病院	160-8582 新宿区信濃町35	03-3353-1211	1989	2007
46	9	独立行政法人国立病院機構東京医療センター	152-8902 目黒区東が丘2-5-1	03-3411-0111	1989	2007
47	10	独立行政法人国立病院機構村山医療センター	208-0011 武蔵村山市学園2-37-1	042-561-1221	1989	2007
48	11	昭和大学病院	142-8666 品川区旗の台1-5-8	03-3784-8000	1989	2007
49	12	順天堂大学医学部附属順天堂病院	113-8431 文京区本郷3-1-3	03-3813-3111	1989	2007
50	13	帝京大学医学部附属病院	173-8605 板橋区加賀2-11-1	03-3964-1211	1989	2007

一連 番号	認定 番号	施設名	郵便番号/住 所	電話番号	認定 年度	次回 更新年度
51	14	東京医科歯科大学医学部附属病院	113-8519 文京区湯島1-5-45	03-3813-6111	1989	2007
52	15	東京医科大学病院	160-0023 新宿区西新宿6-7-1	03-3342-6111	1989	2007
53	16	東京女子医科大学東医療センター	116-8567 荒川区西尾久2-1-10	03-3810-1111	1989	2007
54	17	東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター	162-0054 新宿区河田町10-22	03-5269-1711	1989	2007
55	18	東京大学医学部附属病院	113-0033 文京区本郷7-3-1	03-3815-5411	1989	2007
56	19	東京通信病院	102-0071 千代田区富士見2-14-23	03-5214-7111	1989	2007
57	20	東京都立府中病院	183-0042 府中市武蔵台2-9-2	0423-23-5111	1989	2007
58	21	東京都老人医療センター	173-0015 板橋区栄町35-2	03-3964-1141	1989	2007
59	22	杏林大学医学部附属病院	181-8611 三鷹市新川16-20-2	0422-47-5511	1989	2007
60	23	東京都立大塚病院	170-0005 豊島区南大塚2-8-1	03-3941-3211	1989	2007
61	25	日本大学医学部附属板橋病院	173-8610 板橋区大谷口上町30-1	03-3972-8111	1989	2007
62	89	国立成育医療センター	157-8535 世田谷区大蔵2丁目10-1	03-3416-0181	1990	2008
63	92	東京都立墨東病院	130-8575 墨田区江東橋4-23-15	03-3633-6151	1990	2008
64	111	東京慈恵会医科大学附属病院	105-8471 港区西新橋3-19-18	03-3433-1111	1990	2008
65	123	国家公務員等共済組合連合会虎の門病院	105-8470 港区虎ノ門2-2-2	03-3588-1111	1991	2006
66	124	財団法人佐々木研究所附属杏雲堂病院	101-0062 千代田区神田駿河台1-8	03-3292-2051	1991	2006
67	125	東京都立駒込病院	113-8677 文京区本駒込3-18-22	03-3823-2101	1991	2006
68	126	J R 東京総合病院	151-0053 渋谷区代々木2-1-3	03-3320-2200	1991	2006
69	156	日本大学医学部付属練馬光が丘病院	179-0072 練馬区光が丘2-11-1	03-3979-3611	1992	2007
70	187	河北総合病院	166-0001 杉並区阿佐ヶ谷北1-7-3	03-3339-2121	1993	2008
71	245	日本医科大学附属病院	113-8603 文京区千駄木1-1-5	03-3822-2131	1997	2006
72	276	東邦大学医療センター大森病院	143-8541 大田区大森西6-11-1	03-3762-4151	1999	2008
73	277	東京厚生年金病院	162-0821 新宿区津久戸町5-1	03-3269-8111	1999	2008
74	314	公立阿伎留病院	197-0834 あきる野市引田78-1	042-558-0321	2000	2006
75	341	社会福祉法人白十字会東京白十字病院	189-0021 東村山市諏訪町2-26-1	042-391-6111	2001	2007
76	355	東邦大学医療センター大橋病院	153-8515 目黒区大橋2-17-6	03-3468-1251	2002	2008
77	386	国立国際医療センター	162-8655 新宿区戸山1-21-1	03-3202-7181	2003	2006
78	387	日本赤十字社医療センター病院	150-8935 渋谷区広尾4-1-22	03-3400-1311	2003	2006
79	402	財団法人日産厚生会玉川病院	158-0095 世田谷区瀬田4-8-1	03-3700-1151	2004	2007
80	403	東京大学医科学研究所附属病院	108-8639 港区白金台4-6-1	03-3443-8111	2004	2007
81	404	東京都リハビリテーション病院	131-0034 墨田区堤通2-14-1	03-3616-8600	2004	2007
82	405	自警会西東京警察病院	185-0023 分府寺市西元町4-8-1	042-321-1101	2004	2007
83	445	※青梅市立総合病院	198-0042 青梅市東青梅4-16-5	0428-22-3191	2005	2008
84	446	※社会福祉法人児玉経堂病院	156-0052 世田谷区経堂2-5-21	03-3420-1028	2005	2008
85	447	※順天堂東京江東高台者医療センター	136-0075 江東区新砂3-3-20	03-5632-3111	2005	2008
86	448	※東京北部病院	123-0872 足立区江北6-24-6	03-3854-3181	2005	2008
87	449	※町田市市民病院	194-0023 町田市旭町2-15-41	042-722-2230	2005	2008
栃木県						
88	27	自治医科大学附属病院	329-0498 河内郡南河内町薬師寺3311-1	0285-58-7358	1989	2007
89	28	獨協医科大学病院	321-0293 下都賀郡壬生町北小林880	0282-86-1111	1989	2007
千葉県						
90	29	千葉大学医学部附属病院	260-8677 千葉市中央区玄鼻1-8-1	043-222-7171	1989	2007
91	75	千葉県千葉リハビリテーションセンター	266-0005 千葉市緑区誉田町1-45-2	043-291-1831	1990	2008
92	249	独立行政法人国立病院機構下志津病院	284-0003 四街道市鹿渡934-5	043-422-2511	1998	2007
93	297	東邦大学医学部付属佐倉病院	285-0841 佐倉市下志津564-1	043-462-8811	1997	2006
94	313	松戸市立病院	271-8511 松戸市上本郷4005	047-363-2171	2000	2006
95	385	千葉県済生会習志野病院	275-0006 習志野市泉町1-1-1	047-473-1281	2003	2006
96	406	独立行政法人国立病院機構千葉東病院	260-8712 千葉市中央区仁戸名町673番地	043-261-5171	2004	2007
97	441	※医療法人鉄焦会亀田総合病院	296-8602 鴨川市東町929番地	047-092-2211	2005	2008
98	442	※順天堂大学医学部附属順天堂浦安病院	279-0021 浦安市富岡2-1-1	047-353-3111	2005	2008
99	443	※総合病院国保旭中央病院	289-2511 旭市イ1326	0479-63-8111	2005	2008
100	444	※千葉徳洲会病院	274-8503 船橋市習志野台1-27-1	047-466-7111	2005	2008
埼玉県						
101	30	埼玉医科大学総合医療センター	350-8550 川越市鶴田辻道町1981	049-228-3400	1989	2007
102	31	埼玉医科大学病院	350-0495 入間郡毛呂山町毛呂本郷38	0492-76-1462	1989	2007
103	32	防衛医科大学校病院	359-8513 所沢市並木3-2	0429-95-1211	1989	2007
104	85	さいたま赤十字病院	338-8553 さいたま市中央区上落合8-3-33	048-852-1111	1990	2008
105	186	さいたま市立病院	336-8522 さいたま市緑区三室2460	048-873-4111	1993	2008
106	205	秀和総合病院	344-0038 春日部市大沼1-55	048-737-2121	1994	2006
107	311	川口工業総合病院	332-0031 川口市青木1-18-15	048-252-4873	2000	2006
108	339	埼玉社会保険病院	330-0074 さいたま市北浦和4-9-3	048-832-4951	2001	2007
109	340	深谷赤十字病院	366-0052 深谷市上柴町西5丁目8番地1	048-571-1511	2001	2007
110	358	医療法人関越病院	350-2213 鶴ヶ島市大字脚折145-1	049-285-3161	2002	2008

INFORMATION

一連番号	認定番号	施設名	郵便番号/住所	電話番号	認定年度	次回更新年度
埼玉県						
111	400	埼玉県総合リハビリテーションセンター	362-8567 上尾市西貝塚148-1	048-781-2222	2004	2007
112	401	自治医科大学附属大宮医療センター	330-8503 さいたま市大宮区天沼町1-847	048-647-2111	2004	2007
茨城県						
113	130	筑波大学附属病院	305-8576 つくば市天久保2-1-1	0298-53-3900	1991	2006
114	231	株式会社日立製作所多賀総合病院リウマチ膠原病センター	316-0035 日立市国分町2-1-2	0294-33-0035	1996	2008
115	310	東京医科大学霞ヶ浦病院	300-0395 稲敷郡阿見町中央3-20-1	0298-87-1161	2000	2006
116	338	財団法人筑波麗仁会筑波学園病院	305-0854 つくば市上横場2573-1	0298-36-1355	2001	2007
117	356	社会福祉法人白十字会白十字総合病院	314-0134 鹿島郡神栖町賀2148	0299-92-3311	2002	2008
群馬県						
118	87	医療法人社団三思会東邦病院	379-2311 新田郡笠懸町大字阿左美1155	0277-76-6311	1990	2008
119	90	前橋赤十字病院	371-0014 前橋市朝日町3-21-36	027-224-4585	1990	2008
120	129	医療法人井上病院	370-0053 高崎市通町55	0273-22-3660	1991	2006
121	185	群馬大学医学部附属病院	371-8511 前橋市昭和町3-39-15	027-220-7111	1993	2008
122	232	財団法人老年病研究所附属病院	371-0847 前橋市大友町3-26-8	027-253-3311	1996	2008
123	247	医療法人社団日高会日高病院	370-0001 群馬県高崎市巾尾町886	027-362-6201	1998	2007
124	357	医療法人社団東郷会恵愛堂病院	376-0101 山田郡大間々町大字大間々504-6	0277-73-2211	2002	2008
125	384	医療法人相生会わかば病院	371-0843 前橋市新前橋町3-3	027-255-5252	2003	2006
神奈川県						
126	33	厚木市立病院	243-8588 厚木市水引1-16-36	046-221-1570	1989	2007
127	34	川崎市立川崎病院	210-0013 川崎市川崎区新川通12-1	044-233-5521	1989	2007
128	35	北里大学病院	228-8555 相模原市北里1-15-1	0427-78-8111	1989	2007
129	36	北里大学東病院	228-8520 相模原市麻溝台2-1-1	0427-48-9111	1989	2007
130	37	独立行政法人国立病院機構相模原病院	228-8522 相模原市桜台18-1	0427-42-8311	1989	2007
131	39	聖マリアンナ医科大学病院	216-8511 川崎市宮前区菅生2-16-1	044-977-8111	1989	2007
132	40	聖マリアンナ医科大学東横病院	211-0063 川崎市中原区小杉3-435	044-722-2121	1989	2007
133	41	東海大学医学部付属病院	259-1193 伊勢原市望星台	0463-93-1121	1989	2007
134	42	横浜市立大学医学部附属病院	236-0004 横浜市金沢区福浦3-9	045-787-2800	1989	2007
135	94	昭和大学藤が丘病院	227-0043 横浜市青葉区藤が丘1-30	045-971-1151	1990	2008
136	95	湯河原厚生年金病院	259-0314 足柄下郡湯河原町宮上438	0465-63-2211	1990	2008
137	157	藤沢市民病院	251-8550 藤沢市藤沢2-6-1	0466-25-3111	1992	2007
138	158	横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター	232-0024 横浜市南区浦舟町4-57	045-261-5656	1992	2007
139	159	帝京大学医学部附属溝口病院	213-8507 川崎市高津区溝口3-8-3	044-844-3333	1992	2007
140	189	湘南鎌倉総合病院	247-8533 鎌倉市山崎1202-1	0467-46-1717	1993	2008
141	221	川崎市立井田病院	211-0035 川崎市中原区井田2-27-1	044-766-2188	1995	2007
142	252	横浜市立市民病院	240-0062 横浜市保土ヶ谷区岡沢町56	045-331-1961	1998	2007
143	298	海老名総合病院人工関節リウマチセンター	243-0433 海老名市河原口1519	0462-35-1311	1997	2006
144	315	特定医療法人(社団)新都市医療研究会君津会南大和病院	242-0015 大和市下和田1331-2	046-269-2411	2000	2006
145	316	国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院	236-0037 横浜市金沢区六浦東1-21-1	045-782-2101	2000	2006
146	342	横浜船員保険病院	240-8585 横浜市保土ヶ谷区釜台町43-1	045-331-1251	2001	2007
147	360	国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院	247-8581 横浜市栄区桂町132番地	045-891-2171	2002	2008
148	362	昭和大学藤が丘リハビリテーション病院	227-8518 横浜市青葉区藤が丘2-1-1	045-974-2221	2002	2008
149	363	社会福祉法人聖テレジア会総合病院聖ヨゼフ病院	238-8502 横須賀市緑が丘28	046-822-2134	2002	2008
150	364	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	241-0811 横浜市旭区矢指町1197-1	045-366-1111	2002	2008
151	388	済生会神奈川県病院	221-8601 横浜市神奈川区富家町6-6	045-432-1111	2003	2006
152	389	三浦市立病院	238-0222 三浦市岬陽町4-33	0468-82-2111	2003	2006
153	407	独立行政法人国立病院機構神奈川病院	257-8585 秦野市落合666-1	0463-81-1771	2004	2007
154	408	横須賀市立うわまち病院	238-8567 横須賀市上町2-36	046-823-2630	2004	2007
155	409	横浜総合病院リウマチ・関節センター	225-0025 横浜市青葉区鉄町2201	045-902-0001	2004	2007
156	450	※横浜市立みなと赤十字病院	231-8682 横浜市中区新山下3-12-1	045-628-6100	2005	2008
山梨県						
157	43	山梨大学医学部附属病院	409-3898 中巨摩郡玉穂町下河東1110	0552-73-1111	1989	2007
158	455	※山梨県立中央病院	400-0027 甲府市富士見1-1-1	055-253-7111	2005	2008
159	456	※市立甲府病院	400-0832 甲府市増坪町366	055-244-1111	2005	2008
静岡県						
160	44	市立伊東市民病院	414-0054 伊東市鎌田222	0557-37-2626	1989	2007
161	45	中伊豆温泉病院	410-2502 伊豆市上白岩1000番地	0558-83-3333	1989	2007
162	96	順天堂大学医学部附属順天堂静岡病院	410-2295 伊豆の国市長岡1129	055-948-3111	1990	2008
163	134	浜松医科大学医学部附属病院	431-3192 浜松市半田山1-20-1	053-435-2111	1991	2006
164	190	磐田市立総合病院	438-8550 磐田市大久保512-3	0538-38-5000	1993	2008
165	192	総合病院聖隷浜松病院	430-0906 浜松市住吉2-12-12	053-474-2222	1993	2008
166	222	総合病院静岡厚生病院	420-8623 静岡市北番町23	054-271-7177	1995	2007
167	279	総合病院聖隷三方原病院	433-8105 浜松市三方原町3453	053-436-1251	1999	2008
168	320	藤枝市立総合病院	426-8677 藤枝市駿河台4-1-11	054-646-1111	2000	2006

一連番号	認定番号	施設名	郵便番号/住所	電話番号	認定年度	次回更新年度
169	366	静岡赤十字病院	420-0853 静岡市葵区追手町8-2	054-254-4311	2002	2008
170	367	静岡リウマチ整形外科リハビリ病院	420-0821 静岡市袖木90-1	054-267-1000	2002	2008
171	393	焼津甲賀病院	425-0088 焼津市大覚寺655	054-628-5500	2003	2006
172	414	県西部浜松医療センター	432-8580 浜松市富塚町328	053-453-7111	2004	2007
173	415	静岡県立総合病院	420-8527 静岡市北安東4-27-1	054-247-6111	2004	2007
長野県						
174	97	長野県厚生連篠ノ井総合病院	388-8004 長野市篠ノ井会666-1	026-292-2261	1990	2008
175	160	長野県厚生農業協同組合連合会長野松代総合病院	381-1231 長野市松代町松代183	026-278-2031	1992	2007
176	161	小諸厚生総合病院	384-8588 小諸市与良町3-2-31	0267-22-1070	1992	2007
177	299	長野赤十字病院	380-0922 長野市若里5-22-1	026-226-4131	1997	2006
178	318	飯田市立病院	395-8502 飯田市八幡町438	0265-21-1255	2000	2006
179	343	信州大学医学部附属病院	390-8621 松本市旭3丁目1番1号	0263-35-4600	2001	2007
180	410	医療法人抱生会丸の内病院リウマチセンター	390-8601 松本市開智2-3-50	0263-33-0385	2004	2007
新潟県						
181	112	新潟県立瀬波病院	958-8555 村上市瀬波温泉2-4-15	0254-53-3154	1990	2008
182	113	新潟大学医学部総合病院	951-8510 新潟市旭町通1-754	025-223-6161	1990	2008
183	133	新潟県立中央病院	943-0192 上越市新南町205	0255-22-7711	1991	2006
184	365	長岡赤十字病院	940-2085 長岡市寺島町297-1	0258-28-3600	2002	2008
富山県						
185	166	富山赤十字病院	930-0859 富山市牛島本町2-1-58	076-433-2222	1992	2007
186	194	富山医科薬科大学附属病院	930-0194 富山市杉谷2630	076-434-2281	1993	2008
187	390	富山県済生会高岡病院	933-8525 高岡市二塚387-1	0766-21-0570	2003	2006
188	451	※富山県立中央病院	930-8550 富山市西長江2丁目2番78号	076-424-1531	2005	2008
石川県						
189	80	社団法人石川勤労者医療協会金沢リハビリテーション病院	921-8065 金沢市上荒屋1-79	076-249-6222	1990	2008
190	86	金沢医科大学病院	920-0293 河北郡内灘町大学1-1	076-286-3511	1990	2008
191	301	金沢大学医学部附属病院	920-8641 金沢市宝町13-1	076-265-2000	1997	2006
192	319	石川県済生会金沢病院	920-0353 金沢市赤土町二13-6	076-266-1060	2000	2006
愛知県						
193	46	愛知医科大学附属病院	480-1195 愛知郡長久手町大字岩作字雁又21	0561-62-3311	1989	2007
194	47	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター	460-0001 名古屋市中区三の丸4-1-1	052-951-1111	1989	2007
195	48	名古屋市立大学病院	467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄1	052-853-5511	1989	2007
196	49	藤田保健衛生大学病院	470-1192 豊明市香掛町田染ヶ窪1-98	0562-93-9244	1989	2007
197	103	J A 愛知厚生連安城更生病院	446-8602 安城市安城町東大畑28番地	0566-75-2111	1990	2008
198	107	小牧市民病院	485-8520 小牧市常昔請1-20	0568-76-4131	1990	2008
199	162	トヨタ記念病院	471-8513 豊田市平和町1-1	0565-28-0100	1992	2007
200	163	名古屋大学医学部附属病院	466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町65	052-741-2111	1992	2007
201	209	独立行政法人労働者健康福祉機構中部労災病院	455-8530 名古屋市南区港明1-10	052-652-5511	1994	2006
202	210	名古屋市立東市民病院	464-8547 名古屋市千種区若水1-2-23	052-721-7171	1994	2006
203	234	みなと医療生活協同組合協立総合病院	456-8611 名古屋市熱田区五番町4-33	052-654-2211	1996	2008
204	253	豊橋市民病院	441-8570 豊橋市青竹町八間西50	0532-33-6111	1998	2007
205	254	医療法人宝美会総合青山病院	441-0195 宝飯郡小坂井町大字小坂井字門並5番地1	0533-78-2561	1998	2007
206	280	成田記念病院	441-0821 豊橋市白河町78	0532-31-2167	1999	2008
207	281	豊川市民病院	442-8561 豊川市光明町1-19	0533-86-1111	1999	2008
208	282	公立陶生病院	489-8642 瀬戸市西追分町160	0561-82-5101	1999	2008
209	283	一宮市立市民病院	491-8558 一宮市文京2丁目2番22号	0586-71-1911	1999	2008
210	344	名古屋共立病院	454-8525 名古屋市中川区法華1丁目172	052-362-5151	2001	2007
211	369	名古屋市長総合リハビリテーションセンター	467-8622 名古屋市長区弥富字密柑山1-2	052-835-3811	2002	2008
212	416	医療法人豊田会刈谷総合病院	448-8505 刈谷市住吉町5-15	0566-21-2450	2004	2007
213	417	名古屋市立守山市民病院	463-0067 名古屋市守山区守山2丁目18-22	052-791-2121	2004	2007
214	418	半田市立半田病院	475-8599 半田市東洋町2-29	0569-22-9881	2004	2007
215	453	※愛知県厚生農業協同組合連合会加茂病院	471-0024 豊田市元城町3-17	0565-31-1511	2005	2008
216	454	※独立行政法人国立病院機構東名古屋病院	465-8620 名古屋市長区梅森坂5丁目101番地	052-801-1151	2005	2008
三重県						
217	83	鈴鹿中央総合病院	513-8630 鈴鹿市安塚町字山之花1275-53	0593-82-1311	1990	2008
218	135	山田赤十字病院	516-0805 度会郡御薮村高向810	0596-28-2171	1991	2006
219	419	独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター	514-1101 久居市明神町2158-5	059-259-1211	2004	2007
福井県						
220	52	福井大学医学部附属病院	910-1193 吉田郡松岡町下合月23-3	0776-61-3111	1989	2007
221	110	福井総合病院	910-8561 福井市新田塚1-42-1	0776-21-1300	1990	2008
222	411	独立行政法人国立病院機構あわら病院	910-4272 あわら市北潟238-1	0776-79-1211	2004	2007
223	412	福井県済生会病院	918-8503 福井市和田中町舟橋7-1	0776-23-1111	2004	2007

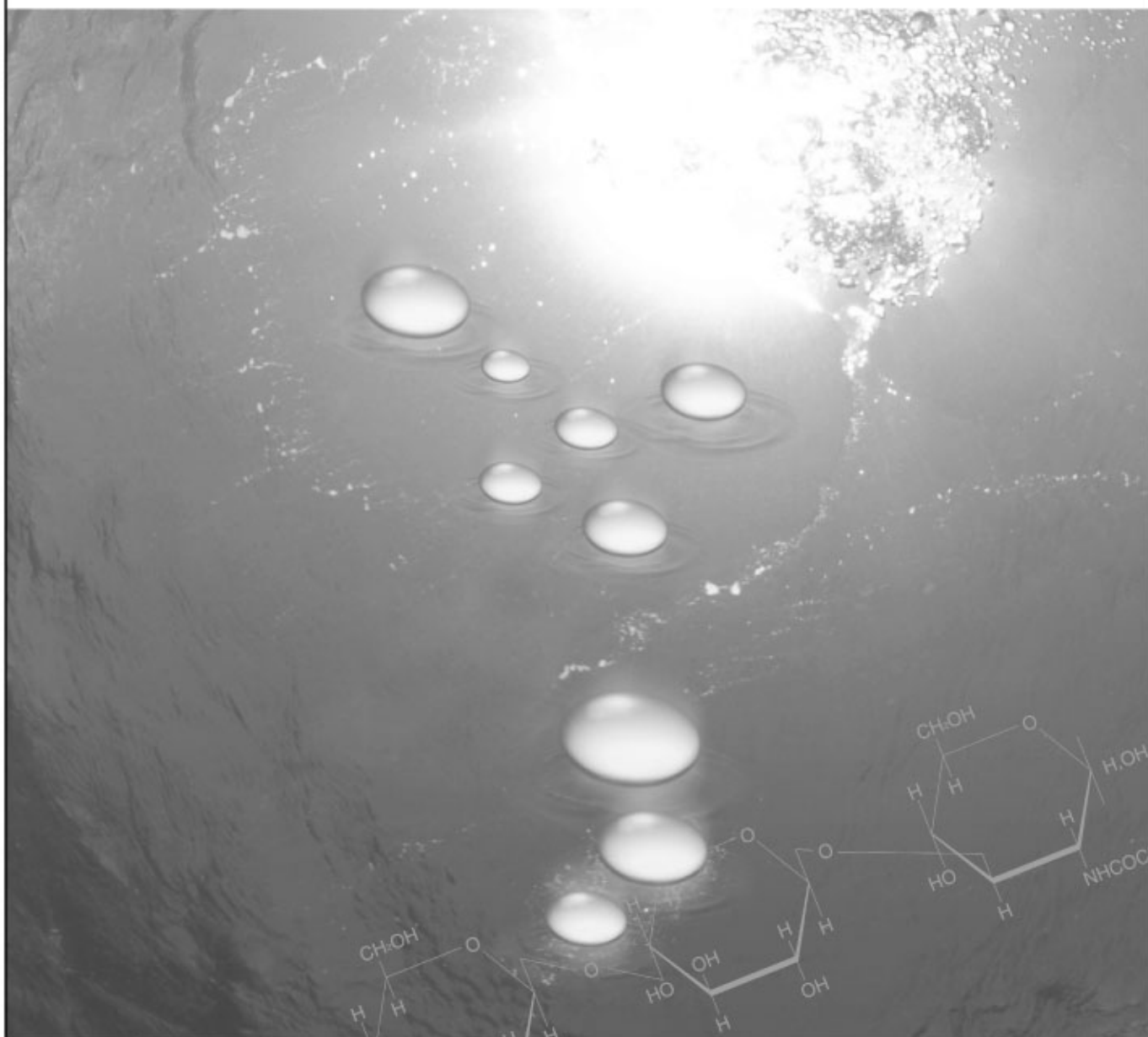
INFORMATION

一連 番号	認定 番号	施設名	郵便番号/住 所	電話番号	認定 年度	次回 更新年度
岐阜県						
224	50	朝日大学附属村上記念病院	500-8523 岐阜市橋本町3-23	058-253-8001	1989	2007
225	193	岐阜大学医学部附属病院	501-1194 岐阜市柳戸1番1	058-230-6000	1993	2008
226	391	岐阜県立多治見病院	507-8522 多治見市前畑町5-161	0572-22-5311	2003	2006
227	392	医療法人社団登豊会近石病院	502-0901 岐阜市光町2-46	058-232-2111	2003	2006
228	413	社団医療法人かなめ会山内ホスピタル	500-8381 岐阜市市橋3-7-22	058-276-2131	2004	2007
229	452	※西美濃厚生病院	503-1394 養老郡養老町押越986	0584-32-1161	2005	2008
京都府						
230	53	京都大学医学部附属病院	606-8507 京都市左京区聖護院川原町54	075-751-3652	1989	2007
231	54	京都府立医科大学附属病院	602-0841 京都市上京区河原町小路上ル梶井町465	075-251-5505	1989	2007
232	104	京都第二赤十字病院	602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町355-5	075-231-5171	1990	2008
233	421	大原記念病院	601-1246 京都市左京区大原井出町164	075-744-3121	2004	2007
234	422	京都第一赤十字病院	605-0981 京都市東山区本町15丁目749番地	075-561-1121	2004	2007
235	457	※医療法人順和会京都下鴨病院	606-0866 京都市左京区下鴨東森ヶ前町17	075-781-1158	2005	2008
大阪府						
236	56	独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院	591-8025 堺市長曾根町1179-3	0722-52-3561	1996	2008
237	57	関西医科大学附属病院	570-8507 守口市文圃町10-15	06-6992-1001	1989	2007
238	58	近畿大学医学部附属病院	589-8511 大阪狭山市大野東377-2	072-366-0221	1989	2007
239	59	独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター	586-8521 河内長野市木戸東町2-1	0721-53-5761	1989	2007
240	102	医療法人行岡医学研究会行岡病院	530-0021 大阪府北区浮田2-2-3	06-6371-9921	1990	2008
241	105	大阪大学医学部附属病院	565-0871 吹田市山田丘2-15	06-6879-5111	1990	2008
242	137	関西電力病院	553-0003 大阪市福島区福島2-1-7	066-458-5821	1991	2006
243	138	N T T 西日本大阪病院	543-8922 大阪市天王寺区烏ヶ辻2-6-40	06-6773-7111	1991	2006
244	139	大阪市立大学医学部附属病院	545-8586 大阪市阿倍野区旭町1-5-7	066-645-2121	1991	2006
245	140	大阪医科大学附属病院	569-8686 高槻市大学町2-7	0726-83-1221	1991	2006
246	167	淀川キリスト教病院	533-0032 大阪市東淀川区淡路2-9-26	06-6322-2250	1992	2007
247	211	星ヶ丘厚生年金病院	573-8511 枚方市星丘4-8-1	072-840-2641	2002	2008
248	236	医療法人早石会早石病院	543-0027 大阪市天王寺区筆ヶ崎町2-12	06-6771-1227	1996	2008
249	237	大阪赤十字病院	543-8555 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30	06-6774-5111	1996	2008
250	256	大阪府立急性期・総合医療センター	558-8558 大阪市住吉区万代東3-1-56	06-6692-1201	1998	2007
251	257	ヘルランド総合病院	599-8247 堺市東山500-3	072-234-2001	1998	2007
252	258	高槻赤十字病院	569-1096 高槻市阿武野1-1-1	072-696-0571	1998	2007
253	284	大阪府済生会中津病院	530-0012 大阪市北区芝田二丁目10番39号	06-6372-0333	1999	2008
254	285	財団法人田附興風会医学研究所北野病院	530-8480 大阪市北区扇町2-4-20	06-6312-1221	1999	2008
255	286	医療法人相愛会相原第二病院	545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋3-12-10	06-6633-3661	1999	2008
256	288	近畿大学医学部堺病院	590-0132 堺市原山台2丁目7番1号	0722-99-1120	1999	2008
257	289	日野病院	599-8123 堺市北野田626	0722-35-0090	1999	2008
258	323	医療法人祐生会みどりヶ丘病院	569-1121 真上町3-13-1	0726-81-5717	2000	2006
259	325	大阪厚生年金病院	553-0003 大阪市福島区福島4-2-78	06-6441-5451	2000	2006
260	326	市立枚方市民病院	573-1013 枚方市禁野本町2丁目14-1	072-847-2821	2000	2006
261	370	特定医療法人きつこう会多根総合病院	550-0024 大阪市西区境川1-2-31	06-6581-1071	2002	2008
262	394	大阪府済生会富田林病院	584-0082 富田林市向陽台1-3-36	0721-29-1121	2003	2006
263	395	堺温心会病院	599-8273 堺市深井清水町2140-1	072-278-2461	2003	2006
264	396	財団法人日本生命済生会付属日生病院	550-0012 大阪市西区立売堀6-3-8	06-6543-3581	2003	2006
265	423	医療法人交詢医会大阪リハビリテーション病院	599-0212 阪南市自然田940	0724-73-2000	2004	2007
266	424	医療法人協和会協和会病院	564-0001 吹田市岸部北1-24-1	06-6339-3455	2004	2007
267	425	特定医療法人三和会永山病院	590-0406 泉南郡熊取町大久保東1-1-10	0724-53-1122	2004	2007
268	426	錦秀会阪和住吉総合病院	558-0041 大阪市住吉区南住吉3-2-9	06-6692-1001	2004	2007
269	458	※医療法人愛仁会千船病院	555-5001 大阪市西淀川区佃2-2-45	06-6471-9541	2005	2008
270	459	※市立堺病院	590-0046 堺市南安井町1-1-1	072-221-1700	2005	2008
滋賀県						
271	60	国立大学法人滋賀医科大学医学部附属病院	520-2192 大津市瀬田月輪町	077-548-2252	1989	2007
兵庫県						
272	61	神戸大学医学部附属病院	650-0017 神戸市中央区楠町7-5-2	078-382-5111	1989	2007
273	62	財団法人甲南病院加古川病院	675-8545 加古川市神野町西条1545-1	0794-38-0621	1989	2007
274	63	兵庫医科大学病院	663-8501 宮西市武庫川町1-1	0798-45-6863	1989	2007
275	238	姫路赤十字病院	670-0032 姫路市下手町1-12-1	0792-94-2251	1996	2008
276	259	独立行政法人労働者健康福祉機構関西労災病院	660-8511 尼崎市稲葉荘3-1-69	06-6416-1221	1998	2007
277	260	三木市立三木市民病院	673-0402 三木市加佐58-1	0794-83-5000	1998	2007
278	261	神戸救済会病院	655-0004 神戸市垂水区学が丘1丁目21-1	078-781-7811	1998	2007
279	302	医療法人聖医会佐用中央病院	679-5383 佐用郡佐用町佐用3529-3	0790-82-2154	1997	2006
280	327	神戸赤十字病院	651-0073 神戸市中央区臨海通1-3-1	078-231-6006	2000	2006
281	328	財団法人甲南病院六甲アイランド病院	658-0032 神戸市東灘区向洋町中2丁目11	078-858-1111	2000	2006

一連 番号	認定 番号	施設名	郵便番号/住 所	電話番号	認定 年度	次回 更新年度
282	329	神戸市立西市民病院	635-0013 神戸市長田区1番町2丁目4	078-576-5251	2000	2006
283	347	公立学校共済組合近畿中央病院	664-0872 伊丹市車塚3-1	0727-81-3712	2001	2007
284	372	医療法人社団新日鐵広畑病院	671-1122 姫路市広畑区夢前町3-1	0792-36-1038	2002	2008
285	375	松原メイフラワー病院	673-1462 加東郡社町藤田字東山944-25	0795-42-8851	2002	2008
286	420	神戸市立中央市民病院	650-0046 神戸市中央区港島中町4-6	078-302-4321	2004	2007
287	460	※鐘紡記念病院	652-0855 神戸市兵庫区御崎町1-9-1	078-681-6111	2005	2008
288	461	※独立行政法人国立病院機構兵庫中央病院	669-1515 三田市大原1314	079-563-2121	2005	2008
289	462	※医療法人社団松本会松本病院	675-0039 加古川市加古川町栗津232-1	0794-24-0333	2005	2008
奈良県						
290	142	奈良県立医科大学附属病院	634-8522 橿原市四条町840	0744-22-3051	1991	2006
291	330	近畿大学医学部奈良病院	630-0293 生駒市乙田町1248-1	0743-77-0880	2000	2006
292	371	医療法人ひのうえ会樋上病院	634-0007 橿原市葛本町701	0744-23-1185	2002	2008
和歌山県						
293	108	和歌山県立医科大学附属病院	641-8510 和歌山市紀三井寺811-1	0734-47-2300	1990	2008
岡山県						
294	64	医療法人和香会倉敷広済病院	712-8044 倉敷市東塚5-4-16	086-455-5111	1989	2007
295	109	岡山大学医学部歯学部附属病院	700-8558 岡山市鹿田町2-5-1	086-223-7151	1990	2008
296	143	総合病院岡山市立市民病院	700-8557 岡山市天瀬6-10	086-225-3171	1991	2006
297	171	財団法人倉敷成人病センター	710-8522 倉敷市白楽町250	086-422-2111	1992	2007
298	172	川崎医科大学附属病院	710-0061 倉敷市松島577	086-462-1111	1992	2007
299	263	金光病院	719-0104 浅口郡金光町占見新田740	0865-42-3211	1998	2007
300	290	倉敷市立児島市民病院	711-0921 倉敷市児島駅前2丁目39番地	086-472-8111	1999	2008
301	331	独立行政法人国立病院機構南岡山医療センター	701-0304 都窪郡早島町早島4066	086-482-1211	2000	2006
302	376	岡山赤十字病院	700-8607 岡山市青江2-1-1	086-222-8811	2002	2008
303	377	独立行政法人労働者健康福祉機構岡山労災病院	702-8055 岡山市築港緑町1-10-25	086-262-0131	2002	2008
304	397	倉敷中央病院	710-8602 倉敷市美和1-1-1	086-422-0210	2003	2006
広島県						
305	101	広島大学病院	734-8551 広島市南区霞1-2-3	082-257-5555	1990	2007
306	196	尾道市立市民病院	722-8503 尾道市新高山3-1170-177	0848-47-1155	1993	2008
307	212	東広島記念病院リウマチ膠原病センター	739-0002 東広島市西条町吉行2214	0824-23-6661	1994	2006
308	239	公立みつぎ総合病院	722-0293 尾道市御浜町市124番地	0848-76-1111	1996	2008
309	264	広島市立広島市民病院	730-8518 広島市中区基町7-33	082-221-2291	1998	2007
310	348	県立広島病院	734-8530 広島市南区宇品神田1-5-54	082-254-1818	2001	2007
311	349	公立学校共済組合中国中央病院	721-8581 福山市西深津町6-3-1	084-923-5585	2001	2007
312	427	広島県厚生連JA広島総合病院	738-8503 廿日市市地御前1丁目3-3	0829-36-3111	2004	2007
313	428	広島県立身体障害者リハビリテーションセンター	739-0036 東広島市西条町大字田口295-3番地	082-425-1455	2004	2007
島根県						
314	66	島根大学医学部附属病院	693-8501 出雲市塩治町89-1	0853-23-2111	1989	2007
315	197	玉造厚生年金病院	699-0293 松江市玉湯町湯町1-2	0852-62-1560	1993	2008
316	463	※松江赤十字病院	690-8506 松江市母衣町200番地	0852-24-2111	2005	2008
317	465	※島根県立中央病院	693-8555 出雲市姫原4-1-1	0853-22-5111	2005	2008
鳥取県						
318	67	鳥取大学医学部附属病院	683-8504 米子市西町36-1	0859-33-1111	1989	2007
319	262	社団法人鳥取県中部医師会立三朝温泉病院	682-0197 東伯群三朝町山田690	0858-43-1321	1998	2007
320	378	鳥取赤十字病院	680-0017 鳥取市尚徳町117番地	0857-24-8111	2002	2008
山口県						
321	226	山口大学医学部附属病院	755-8505 宇部市南小串1-1-1	0836-22-2266	1995	2007
322	265	宇部協立病院	755-0005 宇部市五十名山町16-23	0836-33-6111	1998	2007
323	332	下関市立中央病院	750-8520 下関市向洋町1丁目13-1	0832-31-4111	2000	2006
324	351	山口県立中央病院	747-8511 防府市大崎77番地	0835-22-4411	2001	2007
325	466	※総合病院山口赤十字病院	753-8519 山口市八幡馬場53-1	083-923-0111	2005	2008
徳島県						
326	379	徳島大学病院	770-8503 徳島市蔵本2-50-1	088-631-3111	2002	2008
327	467	※医療法人美摩病院リウマチセンター	776-0013 吉野川市鶴島町上下島497	0883-24-2957	2005	2008
香川県						
328	173	香川大学医学部附属病院	761-0793 木田郡三木町大字池戸1750-1	087-898-5111	1992	2007
329	241	独立行政法人労働者健康福祉機構香川労災病院	763-8502 丸亀市城東町3-3-1	0877-23-3111	1996	2008
330	291	医療法人財団博仁会キナシ大林病院	761-8023 香川県高松市鬼無町藤井435-1	087-881-3631	1999	2008
331	464	※屋島総合病院	761-0433 高松市屋島西町1857-1	087-841-9141	2005	2008
愛媛県						
332	68	愛媛大学医学部附属病院	791-0204 温泉郡重信町志津川	089-964-5111	1989	2007
333	69	道後温泉病院リウマチセンター	790-0858 松山市道後姫塚乙21-21	089-933-5131	1989	2007
334	70	松山赤十字病院リウマチセンター	790-8524 松山市文京町1	089-924-1111	1989	2007

一連 番号	認定 番号	施設名	郵便番号/住 所	電話番号	認定 年度	次回 更新年度
愛媛県						
335	292	医療法人慈生会松山城東病院	790-0915 松山市松末2丁目19番36号	089-943-7717	1999	2008
336	333	市立宇和島病院	798-8510 宇和島市御殿町1-1	0895-25-1111	2000	2006
高知県						
337	227	高知大学医学部附属病院	783-8505 南国市岡豊町小蓮	088-866-5811	1995	2007
338	242	医療法人緑風会海里マリン病院	781-0112 高知市仁井田1617-5	088-847-0101	1996	2008
339	380	独立行政法人国立病院機構高知病院	780-8077 高知市朝倉西町1-2-25	088-844-3111	2002	2008
340	468	※医療法人元湧会吉井病院	787-0033 四万十市中村大橋通6-7-5	0880-34-5005	2005	2008
福岡県						
341	71	久留米大学病院	830-0011 久留米市旭町67	0942-35-3311	2002	2008
342	78	福岡大学病院	814-0180 福岡市城南区七隈7-45-1	092-801-1011	1990	2008
343	144	九州大学医学部附属病院	812-8582 福岡市東区馬出3-1-1	092-641-1151	1991	2006
344	175	独立行政法人労働者健康福祉機構九州労災病院	800-0296 北九州市小倉南区葛原高松1-3-1	093-471-1121	1992	2007
345	176	産業医科大学病院	807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1	093-603-1611	1992	2007
346	198	宗像医師会病院	811-3431 宗像市田熊5-5-3	0940-37-1188	1993	2008
347	199	福岡島銅病院	814-0103 福岡市城南区島銅6-8-5	092-831-6031	1993	2008
348	213	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	810-8563 福岡市中央区地行浜1-8-1	092-852-0700	1994	2006
349	214	久留米大学医学部附属医療センター	839-0863 久留米市国分町155-1	0942-22-6111	1994	2006
350	228	独立行政法人労働者健康福祉機構門司労災病院	801-8502 北九州市門司区東港町3-1	093-331-3461	1995	2007
351	266	医療法人社団杏林会林病院	812-0044 福岡市博多区千代1-20-18	092-651-8561	1998	2007
352	381	医療法人雪ノ聖母会聖マリア病院	830-8543 久留米市津福本町422	0942-35-3322	2002	2008
353	429	独立行政法人国立病院機構福岡病院	811-1394 福岡市南区屋形原4丁目39-1	092-565-5534	2004	2007
354	469	※片井整形外科病院	811-2302 粕屋町大隈132-1	092-938-4860	2005	2008
355	470	※国家公務員共済組合連合会浜の町病院	810-8539 福岡市中央区舞鶴3-5-27	092-721-0831	2005	2008
356	471	※早良病院	819-0002 福岡市西区姪浜2-2-50	092-881-0536	2005	2008
佐賀県						
357	145	佐賀大学医学部附属病院	849-8501 佐賀市鍋島5-1-1	0952-31-6511	1991	2006
358	200	独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター	843-0393 藤津郡嬉野町大字下宿丙2436	0954-43-1120	1993	2008
長崎県						
359	146	長崎大学医学部附属病院	852-8501 長崎市坂本町1-7-1	095-849-7200	1991	2006
360	178	佐世保中央病院リウマチ・膠原病センター	857-1195 佐世保市大和町15	0956-33-7151	1992	2007
361	267	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター	856-8562 大村市久原2-1001-1	0957-52-3121	1998	2007
362	294	日本赤十字社長崎原爆病院	852-8511 長崎市茂里町3-15	095-847-1511	1999	2008
363	295	健康保険諫早総合病院	854-8501 諫早市永昌東町24-1	0957-22-1380	1999	2008
364	334	医療法人後藤会後藤会病院	850-0832 長崎市油屋町1-21	095-822-3151	2000	2006
365	352	対馬いづはら病院	817-8517 対馬市厳原町東里303-1	0920-52-1910	2001	2007
366	472	医療法人尚整会管整整形外科病院	854-0034 諫早市小野町332	0957-23-2388	2005	2008
熊本県						
367	91	熊本整形外科病院	862-0976 熊本市九品寺1-15-7	096-366-3666	1990	2008
368	147	熊本大学医学部附属病院	860-8556 熊本市本荘1-1-1	096-344-2111	1991	2006
369	179	熊本リハビリテーション病院	869-1106 菊池郡菊陽町曲手760	096-232-3111	1992	2007
370	180	独立行政法人国立病院機構熊本医療センター	860-0008 熊本市湖東2丁目47-20	096-353-6501	1992	2007
371	201	熊本市立熊本市民病院	862-8505 熊本市湖東1-1-60	096-365-1711	1993	2008
372	202	医療法人社団寿量会熊本機能病院	860-8518 熊本市山室6-8-1	096-345-8111	1993	2008
373	203	公立玉名中央病院	865-0064 玉名市中1950	0968-73-5000	1993	2008
374	353	熊本赤十字病院	862-8520 熊本市長嶺南2丁目1-1	096-384-2111	2001	2007
375	430	医療法人社団黎明会宇賀岳病院	869-0502 下益城郡松橋町大字松橋1455-1	0964-32-3111	2004	2007
376	431	山鹿市立病院	861-0593 山鹿市大字山鹿511番地	0968-44-2185	2004	2007
大分県						
377	72	大分大学医学部附属病院	879-5593 大分郡挾間町医大ヶ丘1-1	0975-49-4411	1989	2007
378	73	九州大学病院別府先進医療センター	874-0838 別府市大字鶴見字鶴見原4546	0977-27-1640	1989	2007
379	148	独立行政法人国立病院機構別府医療センター	874-0011 別府市内かまど1473	0977-67-1111	1991	2006
380	181	大分赤十字病院	870-0033 大分市千代町3-2-37	097-532-6181	1992	2007
宮崎県						
381	74	宮崎大学医学部附属病院	889-1692 宮崎郡清武町大字木原5200	0985-85-1510	1989	2007
382	268	宮崎県立宮崎病院	880-0017 宮崎市北高松町5-30	0985-24-4181	1998	2007
383	269	医療法人善仁会市民の森病院	880-0122 宮崎市大字塩路2783-37	0985-39-7630	1998	2007
384	270	独立行政法人国立病院機構都城病院	885-0014 都城市祝言町5033-1	0986-23-4111	1998	2007
鹿児島県						
385	182	鹿児島赤十字病院リウマチ膠原病センター	891-0133 鹿児島市平川町2545	099-261-2111	1992	2007
386	215	鹿児島大学医学部附属病院	890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1	099-275-5111	1994	2006
沖縄県						
387	382	豊見城中央病院	901-0243 島尻郡豊見城字上田25	098-850-3811	2002	2008

*は2005年度新規認定教育施設



関節機能改善剤

指定医薬品、処方せん医薬品^{注)}

薬価基準収載

スベニール® ディスポ
SUVENYL® バイアル

ヒアルロン酸ナトリウム関節内注射液

注) 注意—医師等の処方せんにより使用すること

※「効能・効果」、「用法・用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「禁忌」、「使用上の注意」等については最新の添付文書をご参照ください。 <http://www.chugai-pharm.co.jp>

製造販売元



【資本金請求先】

中外製薬株式会社

〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1

 ロシュグループ

2005.10

各委員会報告

理事会および各委員会開催報告

下記日程で本年度の理事会および各委員会が開催された。(2005年8月16日-11月15日)

8月23日(火)	第2回JCR情報化委員会
8月25日(木)	第2回JCR教育施設認定委員会
9月2日(金)	第3回理事会 第2回JCR国際委員会 第5回JCR将来構想委員会 第5回抗リウマチ薬市販後特別調査(PMS)委員会 第1回JCR社会保険委員会
9月28日(水)	第2回JCR専門医資格認定委員会
10月5日(水)	第2回(通算7回)レフルノミド肺障害調査検討委員会
10月14日(金)	第2回(通算141回)学会誌MR編集委員会
10月18日(火)	第6回抗リウマチ薬市販後特別調査(PMS)委員会
10月26日(水)	第3回JCR専門医資格認定委員会
11月1日(火)	第3回JCR国際委員会 第2回JCR生涯教育委員会
11月4日(金)	第4回理事会 第3回JCR将来構想委員会 第2回(通算8回)JCR小児リウマチ委員会
11月7日(月)	第1回JCR医学用語委員会
11月9日(水)	第4回JCR専門医資格認定委員会

理事会報告

(中)日本リウマチ学会理事会 小池 隆夫 理事長

2005年第3回(中)日本リウマチ学会理事会が9月2日(金)に(中)日本リウマチ学会事務局会議室で開催された。
2005年第4回(中)日本リウマチ学会理事会が11月4日(金)に神戸国際会議場で開催された。

学会誌MR編集委員会報告

MR編集委員会委員長 三森 経世 編集担当理事

学会誌MR編集委員会の2005年度第2回(通算141回)会合が10月14日(金)に開催され、下記の事案が審議・了承された。

1. MRのMEDLINE収載とその後のImpact Factor(IF)取得を目指して、8月30日にNational Library of Medicine (NLM)へ申請を行った。
2. 出版社シュプリンガーとの現行契約は2006年1月12日付で更改されるが、新規の契約では、学会誌MRの著作権が学会の単独保有へと改善されることが説明された。
3. ACR大会時に行われる国際リウマチ雑誌編集者会議に、MR編集長と副編集長が参加することが報告された。
4. 第50回(中)日本リウマチ学会総会・学術集会の英文抄録集に学会誌MRの表紙と体裁を用いることを了承した。しかし、英文抄録の提出が義務付けられていないため、現状では英文抄録集をMRの正規のsupplementとは認めがたいとの意見が出され、MR編集委員会は、第49回JCR学術集会の際と同様に、英文抄録集の編集には携わらないことを再確認した。
5. 海外投稿数と海外講読会員を拡充するために、MRのサンプルを海外送付するなど一定予算をつけて積極的にMR促進活動を展開することが了承された。
6. IP取得後にTransmitting Editorの導入を目指す。このための準備を行なうことが了承された。
7. 2006年度も文部科学省科研費(学術定期刊行物)の申請を行なうことが了承された。

JCR医学用語委員会報告

JCR医学用語委員会委員長 猪熊 茂子 理事

JCR医学用語委員会の2005年度第1回会合が11月7日(月)に学会事務局会議室で開催された。
電子版収載用語について各委員が作業結果を持ち寄り、「削除」、「変更」、「新収載」の各候補用語を検討しながら、用語編集方針が再審議された。

基本的には現在頒布中の改訂第3版を踏襲し、それ以外では

1. 人名の付いた病名は「s」「氏」を省く
2. 人名は「英語読み(母国語読み)」を和訳とする
3. 略語は広く拾って、論文中の略語表記に共通に用いられることを期す
4. 歴史的意義のある語(例:PSS)、最近改定されたばかりの従来語(例:カリニ肺炎)は残して、「→新語」(例:ジロヴェチ肺炎)とする
などが編集方針とされた。

●JCR医学用語委員会からのお願い

医学用語改訂には会員の皆様からのご意見が大変参考になりますので、どうぞ学会事務局までお寄せ下さい。
e-mail:term@ryumachi-jp.com

JCR専門医資格認定委員会報告

JCR専門医資格認定委員会委員長 石黒 直樹 理事

JCR専門医資格認定委員会では来年度の専門医試験について下記の事案が検討されている。

1. 出題分野をカリキュラムに整合させる。
2. 出題比率を分野ごとに定める。
3. 症例問題、画像問題比率を高める。

JCR国際委員会報告

JCR国際委員会委員長 竹内 勤 理事

JCR国際委員会の2005年度第3回会合が11月1日(火)に学会事務局会議室で開催され、下記の事項等が審議・了承された。また、これらの事項は11月4日(金)の理事会に報告された。

1. JCRの対外的な紹介・広報を学会のHPなどで推進するために用意されたJCR紹介文の英語原稿が委員会で吟味され、了承された。
2. JCRのinternational advisory committeeやinternational honorary membersの構成や役割、選出方法、任期などを明確化すべくその原案を作成することになった。委員会事務担当が原案を作成し、現行のメンバーを見直すことで合意した。
3. 第50回JCR総会・学術集会および第15回国際リウマチシンポジウムへ招聘される各国からの講演者やシンポジストの総人数や総額、招聘基準などを委員会として把握し、第51回JCR大会への国際的な対応や国際委員会の役割などの策定に生かす方向を確認した。
4. APLAR関係小委員会の横田委員長(JCR国際委員会副委員長)から、関連の議案について報告がなされ、JCRとして当面7項目の部門でAPLARに関与している現状と課題が説明された。

JCR将来構想委員会報告

将来構想委員会委員長 龍 順之助 副理事長

JCR将来構想委員会の2006年度第2回会合が9月2日(金)に学会事務局会議室で開催され、下記の事案が審議・了承された。

1. 役員選任内規の見直しについて審議され、今後も検討されることとなった。
2. 専門医制度委員会より「専門医制度規則」、「専門医資格維持施行細則」の改正や、研修カリキュラムの改訂に関する審議の報告がされた。将来構想委員会はこの報告に基づき、これらの案件を推進することとなった。
3. (中)日本リウマチ学会の「専門医」と(財)日本リウマチ財団の「登録医」の相違については、他の関連委員会の審議を見守り、理事会に答申することが了承された。

JCR生涯教育委員会報告

JCR生涯教育委員会委員長 尾崎 承一 理事

JCR生涯教育委員会の2005年度第2回会合が11月1日(火)に学会事務局会議室で開催され、下記の事案が審議・了承された。

1. (中)日本リウマチ学会独自の生涯教育研修会の企画・開催について
 - (1) 中央教育研修会
来年度の(中)日本リウマチ学会学術集会のアンニアルコースレクチャーと同一のプログラムを、1日終日コースの専門医単位認定の教育研修会として、平成18年8月20日(日)に大阪で、12月3日(日)に東京で開催する。
 - (2) 地域教育研修会
全国6支部の理事に対して、地域教育研修会の企画立案を依頼することとした。開催は各支部年1回程度とし、内容は各支部に一任するが、(中)日本リウマチ学会支部学術集会に連動した質の高い地域教育研修会として、専門医単位認定の教育研修会とする。
2. リウマチ学会TV(学会ホームページ内)への推薦演題について
来年度の推薦演題(24演題)として下記のものとする。
 - (1) (中)日本リウマチ学会学術集会のシンポジウム・特別講演から12演題を生涯教育委員会が推薦
 - (2) 全国6支部の学術集会における特別講演等より、各支部が2演題づつ(計12演題)推薦し生涯教育委員会がこれ検討し決定する。

JCR情報化委員会報告

JCR情報化委員会委員長 澤井 高志 理事

2005年度第2回JCR情報化委員会が8月23日(火)に事務局会議室で開催され、各担当委員の報告に関し審議・了承がされた。

1. ホームページ(HP)の運用
会員専用ページの内容、方向性におおむね問題点が無いことが報告された。また会員専用ページの案内をニュースレター、メルマガでも行うことが決定された。
2. メルマガの運用
発行が円滑で特段の問題点はないと報告され、了承された。
3. リウマチ学会TVの運用
リウマチ学会TV講演として演者了解済の平成17年度JCRアニュアルコースレクチャーを、会員に無料放映する。
リウマチ学会TVでの教育研修講演を単位取得対象として認定するかは、JCR専門医制度委員会が検討する。研修対象の講演選定は、JCR生涯教育委員会が行う。
4. 電子媒体の広告運用
製薬会社、出版社、医療機械メーカー等に広告掲載の案内中である。担当委員は、委員会の全委員に広告掲載可能な会社等紹介を要請した。
コマーシャルリズムとアカデミズムのバランスに留意すると昨年来の委員会方針により、特定薬品を学会が推奨する印象は回避しつつ、健全な電子媒体広告の確保に努力を傾注する。
5. 英語版HPの開設と運用
英語チェックは担当委員が行うが、内容の確認はJCR国際委員会が行う。
6. リウマチ用語の電子配信運用
猪熊JCR医学用語委員長よりリウマチ学用語の現状につき、冊子と電子用語集の両方を任期中に完成させることを目標に作業中であることが報告された。
情報化委員会は電子配信の形式を用語委員会の決定に委ねることを確認した。
7. 学会IT化と情報化運用
会員専用ページのアクセス制限の対象とページ内の各データへのアクセス権については、今後検討を続ける。
会員専用ページの利便性向上などを重視し、改善することが確認された。
8. ニュースレター発行運用
9月15日発行の第7号の予定コンテンツと編集方針が報告され了承された。

レフルノミド肺障害調査検討小委員会報告

レフルノミド肺障害調査検討小委員会委員長 猪熊 茂子 理事

レフルノミド肺障害調査検討小委員会(略称：LF小委員会)の2005年度第2回(通算7回)が10月5日(水)に学会事務局会議室で開催され、肺障害発症の背景、死亡例が検討された。

第49回JCR総会・学術集会ワークショップでの報告以降の検討結果については、第50回JCR総会・学術集会シンポジウム「リウマチ性疾患の難治性病態の診断と治療」およびシンポジウム「新規治療薬の適正使用ガイドライン」の中で報告する。

JCR小児リウマチ委員会報告

JCR小児リウマチ委員会委員長 横田 俊平 理事

JCR小児リウマチ委員会の2005年度第2回(通算8回)会合が2005年11月4日(金)に神戸国際会議場で開催され、下記の議案が審議・了承がされた。

1. 小児リウマチ専門医研修制度の確立
 - (1) リウマチ学会専門医研修5年のうちの2年をあて、資格申請のため小児リウマチ研修施設での研修を行う。
 - (2) 認定施設、研修制度規約、カリキュラムを決定していく。
 - (3) 学会間での整合性を図るため、小児リウマチ学会の運営委員に正確な情報をリアルタイムに提供し意見を求める。
2. 一般小児科医向け診断・治療ガイドラインの作成
 - (1) 一般小児科、もしくはリウマチ専門医を対象とした診断および治療ガイドラインの作成を検討する。
 - (2) 特に、一般小児科医向けのものは作成が急務であり、専門医が行うべき治療との線引きを明確に行うことが必要
 - (3) 初発時「不明熱」「JIA疑い」の症例の最終診断は、アンケート等を駆使して調査する。
3. リウマチ適応外薬品、未承認薬品認定に関して
今後作成予定の治療ガイドラインに掲載した薬剤について網羅するために、エビデンスの収集を行い、製薬会社の協力を要請する。
4. SLE調査票解析の進捗状況
 - (1) 総症例数100例以上の解析を目指し、現在79例を解析中である。必要ならば委員会メンバー以外の施設にも協力を要請する。
 - (2) 以前より、治療により腎生検所見が明らかに改善している症例が多くみられている。
5. その他
JIA調査解析結果を本年度ACRで報告し論文化する事が決定された。また、今後これを世界に公表していくためには、HLA解析が必須となることが確認された。



骨粗鬆症治療剤

薬価基準収載

ボナロン[®]錠 5mg

<アレンドロン酸ナトリウム 水和物 錠>

劇薬・指定医薬品・処方せん医薬品 (注意：医師等の処方せんにより使用すること)

※ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

※ 邦字「Bonalon」 is the registered trademark of Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, NJ, USA.

製造販売元

TEIJIN 帝人ファーマ株式会社

資料請求先：学術情報部
〒100-8585 東京都千代田区千代田2-1-1

BNT027 (KK) 0504改4 2005年4月作成

各支部だより

(中) 日本リウマチ学会中部支部

1. 中部支部活動状況

今春より日本リウマチ学会の体制が理事選挙によって新理事長、新理事のもとで再構築され、それにともない各支部代表理事が支部長を兼任することになりました。今後支部学会の充実・発展、各会員の相互交流、各県リウマチ医療レベルの向上などに力を注ぐ所存です。何卒よろしくお願いたします。

中部支部としては、年1回学術集會を名古屋地区と他地区にて隔年持回りで開催し、学会誌は年2巻発行しています。関連研究会は東海関節外科研究会2回、東海膠原病研究会2回、東海関節鏡研究会1回、信州リウマチ膠原病懇談会1回

2. 第17回中部リウマチ学会(中部支部学術集會)報告

平成17年9月3日(土)に新潟大学第二内科下条文武教授を学会長として、朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)にて開催されました。関節リウマチの治療戦略が生物学的

などが開催されました。

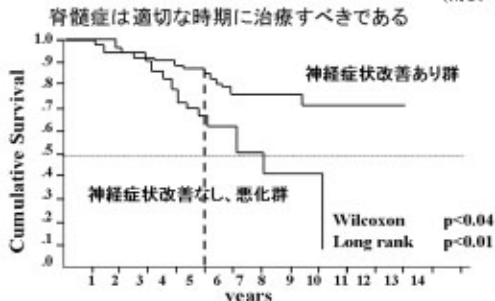
(中)日本リウマチ学会での重要な課題の一つに専門医の育成がありますが、その具体的方策として各県の教育研修施設の増設、充実が掲げられました。幸い中部支部では本年6施設が新たに認定され、1県2施設以上のスローガンをクリアできました。関係諸先生、施設関係者に深く感謝いたします。ちなみに山梨3、静岡14、長野7、新潟4、富山4、石川4、愛知24、三重3、福井4、岐阜6、10県計73施設となっています。

製剤や新薬の導入により大きく変化してきたことをうけ、田中良哉先生(産業医科大学医学部第一内科教授)からは「リウマチ・膠原病治療のパラダイムシフト」、米延策雄先生(国

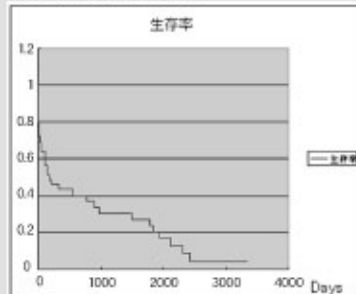
図A

神経症状改善有無は生命予後に影響する(米延講演)

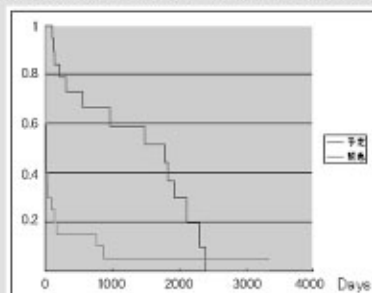
(術後2年)



透析導入後の生存率



透析導入後の生存率(予定導入と緊急導入の比較)



緊急透析導入症例のパーセンタイル別導入時血液データ

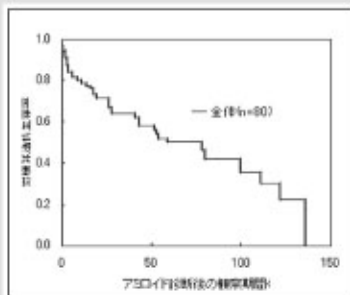
統計量	BUN(mg/dl)	Cr(mg/dl)	Ccr(ml/min)
25%tile	54.0	2.4	10.8
50%tile	78.2	3.9	5.2
75%tile	109.7	6.1	3.6

アミロイドーシス症例では筋肉量が少ないためCrが上昇しないため腎機能障害が過小評価されやすい。血清Cr値(Cr)が2.4mg/dlでもクレアチンクリアランス(Ccr)は10ml/minとなるため透析の導入が必要な症例もあるため注意が必要である。

図B

アミロイドーシス症例の透析導入について(黒田講演)

アミロイドーシス診断から透析まで



立病院機構大阪南医療センター副院長)からは「リウマチ脊椎、上肢外科領域の現状と問題点」(図A)の2題の特別講演をいただきました。また関節リウマチの予後を決定する大きな問題となっているアミロイドーシスをはじめとする合併症についてのシンポジウム「関節リウマチの合併症と手術における問題点」も企画されました。シンポジストの田中郁子先生(藤田保健衛生大学医学部臨床検査部)は「我が国におけるステロイド性骨粗鬆症の管理と治療のガイドライン」を、松井祥子先生(富山医科薬科大学第一内科)は「関節リウマチの肺病変と手術における問題点」を、黒田毅先生(新潟大学大学院腎膠原病内科学分野)は「アミ

ロイドーシス合併例の診療」(図B)を、新井勝光先生(新潟大学大学院整形外科学)は「人工股関節、膝関節手術における深部静脈血栓症予防のための下肢静脈エコーによるスクリーニング」を提示されました。そのほか一般演題は総計92題にのぼり、参加者215名の活発な討論により盛況裡に終了しました。

次回は平成18年9月2日(土)、三重大学整形外科 内田淳正教授のもとでの開催が予定されています。ご支援のほどよろしく願いいたします。

(文責:中部支部代表 村澤 章)

(中) 日本リウマチ学会近畿支部

第15回日本リウマチ学会近畿支部学術集会は、平成17年9月3日(土)大阪大学保健センター吉崎和幸教授(写真)の会長の下に例年のとおり大阪市北区毎日新聞社オーバルホールにおいて開催されました。特別講演は大阪大学大学院医学研究科 器官制御外科学(整形外科)の吉川秀樹教授による「関節リウマチに対する新しい治療戦略—人工骨による骨軟骨再生—」で、内科医からみても理解しやすい整形外科の最新の内容であり、また近畿支部会では昔から伝統的に一般演題を募らず全てシンポジウム形式で開催して来ていますが、今回もそれを踏襲しました。しかし、シンポジウムの主題がTNF α 阻害剤の功罪ということで、この数年間実際に抗TNF剤を使用された各演者のご経験を踏まえたご発表に対して、フロアからも自身の経験を踏まえた活発な議論が展開されて、参加者総数342名と、大変に盛り上がりました。その他のシンポジウムは、RA治療における合併症対策、RA治療の新たな展開の二つでした。

今回はじめての企画は吉崎会長の工夫によってランチョンセミナーがはじめて導入された点で、会員の昼食時の時間の過ごし方に工夫がみられました。また、地方会ということで、一部の発表には演者の独善的な解釈もなかったのですが、聴衆もそれなりに練達のリウマチ医ですから、間違っただけ受け取られたりする懸念はない上、これがまたかえって事象の解釈に幅をもった論議を生んで盛り上がる結果となりました。

これとは別に、私達は今年から石川斉支部長(兵庫中央病院)の下に、地方会の重要な役目は地方会に所属する会員のためになる活動をするにありとの考えから、近畿支部会独自の教育研修会を定期的に開催することに致しました。教育研究会のテーマは「基礎と臨床の和合」で、今ほど基礎研究が臨床の知見と乖離している時代はないと思



第15回日本リウマチ学会
近畿支部学術集會会長
吉崎 和幸
大阪大学保健センター 教授

います。分子遺伝学など段々理詰めになってきているので外から見ると一見とても分かりにくく見えますが、実際は定量科学として医学が成熟した証でありますから、より論理的に整然として来ています。従って、別の視点に立てば、これを分かりやすく臨床医に解説する事はむしろ容易にすらなっており重要な作業です。患者のためになる生きた臨床医学は基礎の事象の大意が臨床医にうまく消化され臨床医の血肉となってダイナミカルに利用されるところに意義があります。

こうした意図の下に、教育研修会は年三回開催され、一方では臨床に関する講話、他方ではDNAとは何かから始まりトランスジェニックマウスなどの遺伝子改変マウス実験までをカバーし、希望者には年一回遺伝子実験の実習を受けていただけるように用意しました。教育研究会の最後の仕上げには抗体産生の分子機構や感染と膠原病に関わるTLR (Toll-like receptor)など自然免疫に関する最新の話題を扱うことにしています。

(文責:近畿支部事務局担当 塩沢俊一)

第69回アメリカリウマチ学会(ACR) サンディエゴ大会に参加して

慶應義塾大学医学部内科 平形 道人

2005 Annual Scientific Meeting of American College of Rheumatology
November 12-17, 2005 at San Diego, California, U.S.A.

第69回アメリカリウマチ学会は2005年11月12日から17日まで、「カリフォルニア誕生の地」サンディエゴにおいて開催されました。サンディエゴはメキシコまで25kmと近く、スペイン統治時代の歴史的背景を持ち、同じ南カリフォルニアでもサンフランシスコやロスアンゼルスとは全く異なる雰囲気の漂う都市です。世界各国から、ACR史上最多の12,500人(Scientific Attendants 9,278人)が集い、自然免疫や調節性T細胞などの免疫学トピックスから免疫抑制療法施行例に対する感染症対策、関節穿刺トレーニングなど臨床実地まで、リウマチ関連領域を網羅して取り上げ、そして、活発に議論が繰り広げられました。サンディエゴでのACRは小生にとって1998年以来2回目ですが、年々拡大する規模と質の充実には驚くばかりで、世界No.1のリウマチ関連学会と改めて認識させられました。

まず、本大会は生物学的製剤(Biological Agents ; BA)治療のバイオニアである、Ravinder Maini卿によるOpening Lectureで幕が開けられ、関節リウマチ(RA)の病態追究からの抗サイトカイン療法の発想からRA治療の将来展望まで講演されました。BAの意義だけでなく、RAの研究・治療の方向性を示す重厚な内容でした。欧米ではBAもRAを中心とするリウマチ性疾患の治療薬として定着し、長期観察症例における薬剤の継続率・有用性・副作用の成績、TNF阻害薬以外のBA(Rituximab, Abatacept)の有用性、などが報告されました。その中では、TNF阻害薬が心血管疾患のリスクを減らし、生命予後を改善するという大規模臨床試験の成績やRA以外の強直性脊椎炎、乾癬性関節炎におけるTNF阻害薬の有効性などが注目されました。我が国でもこれらの疾患で苦痛に悩む患者も少なくなく、保険適応の承認が望まれました。

アンチエイジングのターゲットとして関心が高い、変形性関節症(OA)の病態や治療に関しても数多く報告され、ブレナリーセッションではOAの進行と血清蛋白の変化との関連、GlucosamineやChondroitin sulfate補給の有用性などについて発表されました。SLEではRituximabの有効性やその病態に対する影響、強皮症ではTGF β 阻害による線維化抑制や肺線維症に対するCyclophosphamideの効果、多発性筋炎では新たな抗Tyrosyl-tRNA合成酵素抗体の同定



▲Paul Klemperer Memorial Lecture講演直後のSan Diego Convention Center メインホールに於いて (2005年11月21日)
筆者(左)、三森 経世 京都大学教授(中央)、Betty Diamondコロンビア大学教授(右)

や筋炎特異自己抗体と免疫遺伝学的背景との関連、などが印象に残りました。

今年のPaul Klemperer (膠原病の概念を提唱した偉大な病理学者) Memorial Lectureは、Betty Diamondコロンビア大学教授により、「SLEにおける抗DNA抗体の誘導と同抗体の中樞神経ループス発症への関与」について講演が行われ、メインホールを埋め尽くした聴衆に感銘を与えました。自己抗体はepiphenomenonの産物ともされる中で、その病原性を示した成績であり、自己抗体を研究する者として励まされるとともに、その病態への関与を解明する重要性を痛感しました。

ACRの会場、(あるいは近くのレストランなど)で多くの指導者、研究者と直接出会い、討論できるのは、インターネット、デジタル化による情報化時代を迎えた今日でも、大きなメリットがあります。個人的には、今回もDiamond教授をはじめ、小生のYale大学留学時の恩師、友人、共同研究者と懐かしく語り合い、美味しいシーフードの食事とともに、楽しい一時を過ごすことが出来ました。来年も、Washington D.C.で再会することを約束し、San Diego Convention Centerをあとにしました。

APLAR常任理事会報告

President of APLAR 西岡 久寿樹
日時：2005年11月13日16時
会場：San Diego Marriott Hotel & Marina



聖マリアンナ医科大学 教授
 難病治療研究センター長
 APLAR会長
 西岡 久寿樹

決定了解報告事項一覧

- 1) 新編集委員会のAPLAR Journal 発行を機に今後、EULAR、PANLAR (ACR加盟) 諸国でキャンペーンを実施
- 2) APLAR収支バランスがとれていることの報告
- 3) APLAR内規の一部に手直しが若干加えられた。
- 4) APLAR Foundationについて引き続き検討することを確認
- 5) 中東国やウズベキスタン、ウクライナ等の所属についてEULARとAPLARのPresidentが情報交換することを確認
- 6) APLAR2006 (クアラルンプール) の進捗状況が報告された。
- 7) 今後2ヶ月に一度、執行委員会を国際電話会議方式で開催を確認、APLAR PresidentのofficeにKey station設置を承認



Australian Rheumatology Association 2006 Annual Scientific Meeting



ARA - APLAR Scholarship

Applications are invited for the 2006 ARA-APLAR Scholarship. A single scholarship will be awarded to support an APLAR region applicant to attend and present at the 2006 ARA Scientific Meeting to be held in Perth, Australia on 20th–24th May 2006.

The scholarship will consist of a return economy airfare (which will be arranged by the ARA), up to 5 nights room only accommodation at the conference hotel venue, conference registration including conference dinner. The successful applicant will be responsible for their own travel insurance and visa applications.

Applicants must fulfil and are required to submit evidence of the following criteria:

- A rheumatologist practicing in a developing country that is a member of APLAR, and who is within 5 years of completing their training.
- Abstract submitted for presentation at the 2006 meeting.

Complete applications must be received in hard copy by the 31st January 2006, and should be submitted to:

Associate Professor Kevin Pile
 Dept of Medicine, Bag 8
 Townsville Hospital
 PO Box 670
 Townsville 4810
 AUSTRALIA
 Email: kevin.pile@jcu.edu.au
 Fax: 61 7 4796 1261

海外留学体験記



高橋 令子

東北大学大学院医学系研究科 免疫・血液病学分野

私はこの度、筑波大学臨床免疫学 住田孝之教授のご高配によりまして、米国オクラホマ医学研究所、Arthritis and Immunology program Dr. John B. Harley, Dr. Judith A. Jamesのもとに平成16年4月から一年半留学させていただきました。

オクラホマは、「サウンド オブ ミュージック」「南太平洋」など、数々のミュージカルヒット作を生み出したロジャース&ハマースタインの代表作の一つ、ミュージカル「Oklahoma!」の土地であります。Native American, Cowboyの歴史が脈々と流れている都市といったところでしょうか。また、元

阪神の選手だったあのバース氏はオクラホマ州の出身で、彼は現在州議会議員を務めております。さらに全米大学アメリカンフットボールチャンピオンを毎年争っている、オクラホマ州立大学とオクラホマ大学も有名でしょう。

このようなオクラホマでHarley教授らのもと、全身性エリテマトーデス(SLE)患者の、特にSLE多発家系のSLE患者とその家族の検体が約10年の年月をかけて集められ、精力的にlinkage analysisが行われていました。現在はSLEに関与するSNPsの探索や、マイクロアレイによる遺伝子発現のSLE患者と健常人での差異といったcase control studyも行われています。研究室は150人という大所帯で、しかしながら私が唯一、そしてこのラボでの初めての日本人でした。このような環境でアメリカの文化、またアメリカ人の精神に深く触れることが出来たのは非常に良かったと思いますし、私の今後に大いに影響を受けたと思いました。

もう一つのラボのメインテーマがJames博士らによるEBウイルス感染とSLEの発症の関係でした。他にもSLEの発症、病態の解明に関する非常に魅力的なテーマがたくさんあり、毎日非常に充実していました。

研究だけでなく、隣接する病院にはたくさんの膠原病の患者さんが訪れていました。アメリカの診療を見学する事が出来まして、この点でも大いに勉強になりました。

SLEについてさらに深く取り組むことの出来たこの一年半は非常に有意義だったと思います。今年の10月からは東北大学血液免疫科 佐々木毅教授のもとで、バルボB19ウイルス感染と膠原病の関係について研究しております。今後もSLEの原因の解明、特異的な治療法の開発に向けて努力して参りたいと思います。

第1回

East Asia Group of Rheumatology (EAGOR)
meetingの報告

原 まさ子

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

East Asia Group of Rheumatology (EAGOR) meetingは1997年より日本と韓国のリウマチ医の交流の場として始まったKorean Japan Combined Meeting of Rheumatology (KJCMR)を2003年の第五回目を節目に発展的に解消し、中国を加え新たに企画された会議であります。目的は韓国・中国・日本のリウマチ医相互の理解と友好を深め、遺伝学的・民俗学的に欧米人とは違うアジア人のリウマチ学の向上のための共同研究と若手研究者をサポートすることです。

第1回を2005年5月28日(土曜日)東京・新宿、京王プラザホテルにて開催致しました。今後はAPLARの行われぬ年に持ち回りで開催し、2009年韓国で、2011年中国で開催する予定です。

応募演題数は70演題で、日程が1日、1会場でしたので、口演希望の研究を多数ポスター発表に回さざるを得ませんでした。参加人数は114名でした。

- Session I.** Basic Research of RAには治療につながるような動物実験やin vitroの研究結果が発表されました。
- Session II.** Clinical Research of RA.では山中寿教授のCohort研究の方法・成果が、SC. Bae教授の韓国におけるRAの実態と治療についての報告がありました。中国・韓国から日本の疫学研究の手法を学び、今後各国で大規模な疫学データを集めたいとの意見が出ました。
- Session III.** Autoimmune diseasesではSLEやBehcet病などのRA以外の膠原病における免疫学的異常について発表されました。
- Session IV.** Genetic research of RAではRA関連遺伝子について新しい研究成果が報告されました。
- Session V.** Therapy for RA.では手術療法や漢方療法、Calpain-inhibitorによる治療などが5演題発表されました。

特別講演のSponsored Symposiumには中国のS. L. Chen教授がSLEの診断・治療について、XM. Gao教授がSLEモデル動物におけるautoreactive CD4T cellに対するcox-2 inhibitorの治療効果について講演されました。韓国からは2人のLee教授がRAの治療について、日本からは宮坂信之教授と三村俊英教授に生物製剤による治療を含めた、RAの新しい治療について講演していただきました。

ランチョンセミナーでは竹内勤教授により生物製剤について広く教育的な講演がされました。この学会で印象的だったことは

- 1) basic researchの進歩、特にgenetic researchが活発で、遺伝子関連の演題応募が最も多くありました。
- 2) RAの治療法の違いで、韓国では米国FDAの承認を得た薬が自由に使われ、併用療法も多く積極的な治療が行われています。間質性肺炎などの副作用は見られず、genetic backgroundが近いと思われる日・中・韓でも異なる可能性があり、ここにも3ヵ国協同で治療についての研究や情報交換の意義があると思われます。

懇親会は、この学会の今後についての議論や各国の情報交換が行われ、参加者同士で写真を取り合い和気藹々と盛り上がりました。政治を離れお互いの異同を認識し、友好関係が結ばれた有意義な学会でした。

(中)日本リウマチ学会が認定した教育研修会又は講演会

(中)日本リウマチ学会専門医資格維持施行細則による、当会が認めた教育研修会又は講演会は次の通りです。
なお、財団法人日本リウマチ財団が認めた登録医単位講演も専門医の単位として認められます。

2005年 12 月の研修会

2005.12.16(金) -----
リハセミナー
 開催場所 東京リハビリテーション病院 3F
 大会議室 (墨田区)
 単 位 1
 責任者 (代表) 東京都リハビリテーション病院 病院長
 服部博之
 演 題 「家庭医のためのリウマチのリハビリテーション」
 講 師 東京都リハビリテーション病院
 診療部リウマチ科 医長
 日本医科大学リウマチ科 客員講師 向井英一
 認定講演時間 19:30 - 21:00
 問い合わせ先 東京都リハビリテーション病院 事務部
 松尾穠治
 TEL: 03-3616-8600

2005.12.17(土) -----
OR会
 開催場所 リーガロイヤルホテル大阪 羽衣の間
 (大阪市北区)
 単 位 2
 責任者 (代表) 堀木整形外科 院長 堀木 篤
 演題1 「変わりゆく関節リウマチの疾患概念と治療戦略」
 講 師 大阪厚生年金病院 整形外科 部長 大脇 肇
 認定講演時間 16:15 - 17:15
 演題2 「行岡病院におけるDMARDs・生物学的製剤の使用状況」
 講 師 行岡病院 内科 副院長 古満 豊
 認定講演時間 17:15 - 18:15
 問い合わせ先 吉田整形外科 院長 吉田昌司
 TEL: 06-6799-3800

2006年 1 月の研修会

2006.1.6(金) -----
第二回「分野別対決討論会」
ー骨Ca代謝疾患のより良い治療を目指してー
 開催場所 リーガロイヤルホテル小倉 3F「祇園の間」
 (福岡県北九州市)
 単 位 1
 責任者 (代表) 産業医科大学 医学部第一内科学講座 教授
 田中良哉
 基調講演1 「ミネラル代謝の異常に伴う骨粗鬆症」
 講 師 虎ノ門病院内分泌センター 部長 竹内靖博
 認定講演時間 18:30 - 19:00
 基調講演2 「骨代謝と骨粗鬆症」
 講 師 産業医科大学 整形外科 教授 中村利孝

認定講演時間 19:00 - 19:30
 演題3 「内科疾患と骨粗鬆症」
 講 師 徳島大学医学部 第一内科 教授 松本俊夫
 認定講演時間 19:30 - 20:00
 問い合わせ先 万有製薬株式会社 北九州営業所 倉津竜哉
 TEL: 093-521-1180 FAX: 093-521-4766

2006.1.14(土) -----
第15回RA症例検討会
 開催場所 Kotobuki (奈良県天理市)
 単 位 1
 責任者 (代表) 大西内科医院 大西利明
 演 題 「リウマチ性疾患の診療上のポイント
 ー特に関節所見の取り方と特異的な皮膚粘膜病変
 についてー」
 講 師 道後温泉病院 理事長 高杉 潔
 認定講演時間 16:00 - 17:00
 問い合わせ先 ワイス (株) 京阪神支店 正井隆夫
 TEL: 06-6203-4591

2006.1.17(火) -----
第5回炎症性骨・関節疾患研究会
 開催場所 リーガロイヤルホテル小倉 (福岡県北九州市)
 単 位 1
 責任者 (代表) 産業医科大学 第一内科学講座 教授 田中良哉
 演 題 「リウマチにおける手術療法」
 講 師 新日鐵八幡記念病院 整形外科 部長 香月一朗
 認定講演時間 19:00 - 20:00
 問い合わせ先 産業医科大学 第一内科学講座 助教授
 齋藤和義
 TEL: 093-603-1611

2006.1.20(金) -----
二豊整形外科フォーラム
 開催場所 マリエールオークバイン (大分県中津市)
 単 位 1
 責任者 (代表) 川島整形外科病院 院長 川島真人
 演 題 「人工膝関節置換術の最近の進歩」
 講 師 大分大学医学部 脳・神経機能統御講座 教授
 津村 弘
 認定講演時間 19:00 - 20:00
 問い合わせ先 川島整形外科病院 副院長 佐々木誠人
 TEL: 0979-24-0464 内線 (7003)

2006.1.21(土) -----
第1回山梨リウマチ研究会
 開催場所 古名屋ホテル (山梨県甲府市)
 単 位 1
 責任者 (代表) 山梨県整形外科医会 会長 原 寛
 演 題 「関節リウマチの治療戦略」

講師 山梨大学大学院医学部 整形外科科学講座 教授
濱田良樹
認定講演時間 17:00 - 18:00
問い合わせ先 科研製薬(株) 藤原智明
TEL: 055-232-2511

2006.1.26(木)

リウマチ医のための大分県肺障害講演会
開催場所 大分全日空ホテル オアシスタワー (大分市)
単 位 1
責任者(代表) 大分大学医学部 脳・神経機能統御講座 助教授
津村 弘
演 題 「膠原病の肺病変」 一関節リウマチを中心に一
講 師 大分大学医学部 腫瘍病態制御講座 助手
岡田文人
認定講演時間 19:10 - 20:10
問い合わせ先 大分大学医学部 脳・神経機能統御講座 助教授
津村 弘
TEL: 097-586-5872

2006.1.26(木)

リウマチ医のための大分県肺障害講演会
開催場所 大分全日空ホテル オアシスタワー (大分市)
単 位 1
責任者(代表) 大分大学医学部 脳・神経機能統御講座 助教授
津村 弘
演 題 「間質性肺炎の最近の考え方」
一ガイドラインをふまえて一
講 師 大分大学医学部 生体分子構造機能制御講座
教授 門田淳一
認定講演時間 20:10 - 21:10
問い合わせ先 大分大学医学部 脳・神経機能統御講座 助教授
津村 弘
TEL: 097-586-5872

2006.1.27(金)

静岡関節症研究会
開催場所 沼津東急ホテル 3F「駿河」(静岡県沼津市)
単 位 1
責任者(代表) 順天堂大学医学部附属静岡病院 整形外科 教授
金子和夫
演 題 「運動療法・骨関節疾患と骨内循環」
講 師 京都府立医科大学大学院医学研究科
運動器機能再生外科学 教授 久保俊一
認定講演時間 19:30 - 20:30
問い合わせ先 順天堂大学医学部附属静岡病院 整形外科 教授
金子和夫
TEL: 055-948-3111

2006.1.28(土)

第3回びわこリウマチと免疫セミナー
開催場所 ロイヤルオークホテル (滋賀県草津市)
単 位 1
責任者(代表) 西岡リウマチ整形外科医院 院長 西岡淳一
演 題 「制御性T細胞による免疫疾患の制御」
講 師 京都大学再生医科学研究所 教授 坂口志文
認定講演時間 17:00 - 18:00

問い合わせ先 西岡リウマチ整形外科医院 院長 西岡淳一
TEL: 077-569-0222

2006.1.28(土)

第2回栃木骨粗鬆症集談会
開催場所 ホテル東日本宇都宮 2F「羽衣」
(栃木県宇都宮市)
単 位 1
責任者(代表) 独協医科大学 整形外科科学教室 教授
早乙女絃一
演 題 「日常診療でみられる骨粗鬆症」
講 師 埼玉医科大学臨床検査医学 教授 板橋 明
認定講演時間 18:30 - 19:30
問い合わせ先 独協医科大学 整形外科科学教室 教授
早乙女絃一
TEL: 0282-87-2161

2006.1.28(土)

神戸大学整形外科同門会 生涯教育学術講演会
開催場所 ニューオータニ神戸ハーバーランド
(神戸市中央区)
単 位 1
責任者(代表) 独立行政法人国立病院機構 兵庫中央病院 院長
石川 斉
演 題 「同種骨移植の基礎と臨床」
講 師 北里大学医学部 整形外科 教授 糸満盛憲
認定講演時間 17:00 - 18:00
問い合わせ先 神戸大学医学部 整形外科 西山隆之
TEL: 078-382-5985 FAX: 078-351-6944

2006.1.28(土)

第6回臨床骨代謝フォーラム
開催場所 ホテルグリーンタワー幕張 (千葉市)
単 位 1
責任者(代表) 帝京大学市原病院 第三内科 助教授 岡崎 亮
演 題 「性差から見た骨量、骨質、骨強度」
講 師 長崎大学医学部附属病院 放射線科 助教授
伊東昌子
認定講演時間 17:50 - 18:50
問い合わせ先 帝京大学市原病院 第三内科 助教授 岡崎 亮
TEL: 0436-62-1211

2006.1.29(日)

第7回博多リウマチセミナー
開催場所 アクロス福岡 (福岡市中央区)
単 位 3
責任者(代表) 近藤リウマチ・整形外科クリニック 院長
近藤正一
演題1 「RAの間質性肺炎」
講 師 九州大学病院第一内科 講師 堀内孝彦
認定講演時間 12:00 - 12:30
演題2 「RAに合併する呼吸器感染症」
講 師 宗像医師会病院リウマチ科医長
院内感染対策委員長 真柴晃一
認定講演時間 12:30 - 13:00
演題3 「RA日常診療における関節変形矯正の指導」
講 師 近藤リウマチ・整形外科クリニック 院長
近藤正一

お知らせ

- 認定講演時間 13:10 - 13:40
演題4 「生物学的製剤(レミケード、エンブレル)の安全な使い方」
講師 国立病院機構九州医療センター膠原病内科 医師 宮村知也
- 認定講演時間 14:10 - 14:40
演題5 「新しい免疫抑制剤(プログラフ、アラバ)の使い方と臨床成績」
講師 生野リウマチ整形外科クリニック 生野英祐
- 認定講演時間 14:40 - 15:10
演題6 「最新の人工肘関節の成績」
講師 片井整形外科病院 院長 長嶺隆二
- 認定講演時間 15:10 - 15:40
演題7 「RA足部病変に対する手術治療の進歩」
講師 国立病院機構九州医療センターリウマチ科 医長 宮原寿明
- 認定講演時間 15:40 - 16:10
問い合わせ先 近藤リウマチ・整形外科クリニック 院長 近藤正一
TEL: 092-762-2380 FAX: 092-762-2379

2006年 2 月の研修会

2006. 2.3 (金) -----
第36回日本人工関節学会
開催場所 国立京都国際会館 (京都市)
単 位 1
責任者(代表) 京都大学大学院医学研究科 感覚運動系外科学 講座整形外科 教授 中村孝志
演 題 「わが国の周術期肺血栓塞栓症の現況」
講 師 自治医科大学 麻酔科学・集中医療医学講座 教授 瀬尾憲正
認定講演時間 10:10 - 11:10
問い合わせ先 京都大学大学院医学研究科 感覚運動系外科学 講座整形外科 助教授 川那辺圭一
TEL: 075-751-3366 FAX: 075-751-8409

2006. 2.3 (金) -----
第36回日本人工関節学会
開催場所 国立京都国際会館 (京都市)
単 位 1
責任者(代表) 京都大学大学院医学研究科 感覚運動系外科学 講座整形外科 教授 中村孝志
演 題 「3Dテンプレートによる術前計画とMIS-TKA」
講 師 近畿大学医学部整形外科学教室 助教授 赤木将男
認定講演時間 12:30 - 13:30
問い合わせ先 京都大学大学院医学研究科 感覚運動系外科学 講座整形外科 助教授 川那辺圭一
TEL: 075-751-3366 FAX: 075-751-8409

2006. 2.3 (金) -----
第36回日本人工関節学会
開催場所 国立京都国際会館 (京都市)
単 位 1
責任者(代表) 京都大学大学院医学研究科 感覚運動系外科学

- 講座整形外科 教授 中村孝志
演 題 「The solution for severe DDH cases」
講 師 Chairman, Orthopaedic Dept., Zeisigwaldklinikern Chemnitz Michael Wagner, M.D.

- 認定講演時間 12:30 - 13:30
問い合わせ先 京都大学大学院医学研究科 感覚運動系外科学 講座整形外科 助教授 川那辺圭一
TEL: 075-751-3366 FAX: 075-751-8409

2006. 2.4 (土) -----
第36回日本人工関節学会
開催場所 国立京都国際会館 (京都市)
単 位 1
責任者(代表) 京都大学大学院医学研究科 感覚運動系外科学 講座整形外科 教授 中村孝志
演 題 「関節の潤滑機構」
講 師 京都大学再生医科学研究所附属ナノ再生医学研究センター 教授 池内 健
認定講演時間 13:45 - 14:45
問い合わせ先 京都大学大学院医学研究科 感覚運動系外科学 講座整形外科 助教授 川那辺圭一
TEL: 075-751-3366 FAX: 075-751-8409

2006. 2.4 (土) -----
第36回日本人工関節学会
開催場所 国立京都国際会館 (京都市)
単 位 1
責任者(代表) 京都大学大学院医学研究科 感覚運動系外科学 講座整形外科 教授 中村孝志
演 題 「新しいPSモバイル型人工膝関節(Vanguard Rotating Platform Knee)のデザインコンセプト」
講 師 大阪労災病院関節整形外科 部長 格谷義徳
認定講演時間 12:30 - 13:30
問い合わせ先 京都大学大学院医学研究科 感覚運動系外科学 講座整形外科 助教授 川那辺圭一
TEL: 075-751-3366 FAX: 075-751-8409

2006. 2.4 (土) -----
第36回日本人工関節学会
開催場所 国立京都国際会館 (京都市)
単 位 1
責任者(代表) 京都大学大学院医学研究科 感覚運動系外科学 講座整形外科 教授 中村孝志
演 題 「Over 10 years results of tapered bone preserving type cementless stem」
講 師 Professor, BG Trauma Center, Univ. of Tuebingen Christoph Eingartner, M.D.
認定講演時間 12:30 - 13:30
問い合わせ先 京都大学大学院医学研究科 感覚運動系外科学 講座整形外科 助教授 川那辺圭一
TEL: 075-751-3366 FAX: 075-751-8409

2006. 2.10 (金) -----
佐賀リウマチ研究会
開催場所 マリトピア (佐賀市)
単 位 1

責任者(代表) 佐賀大学医学部 膠原病リウマチ内科 科長
長澤浩平
演題 「生物学的製剤を用いたRAの治療戦略」
講師 松原メイフラワー病院 院長 松原 司
認定講演時間 19:30 - 20:30
問い合わせ先 田辺製薬(株) 佐賀営業所 井波浩司
TEL: 0952-22-7811 FAX: 0952-22-7810

2006. 2.16 (木)

第4回横浜運動器疾患治療懇話会

開催場所 横浜ベイシェラトンホテル& Towers (横浜市)
単位 1
責任者(代表) 横浜市立大学医学部 整形外科 教授 齋藤知行
演題 「リウマチ手関節の手術治療」
講師 北海道大学医学部 整形外科 教授 三浪明男
認定講演時間 19:00 - 20:00
問い合わせ先 横浜市立大学附属市民総合医療センター
整形外科 助教授 三ツ木直人
TEL: 045-261-5656 内線 (2160)
FAX: 045-252-7470

2006. 2.16 (木)

三重県南勢地区慢性疼痛研究会

開催場所 伊勢パールピアホテル (三重県伊勢市)
単位 1
責任者(代表) 山田赤十字病院 整形外科 部長 細井 哲
演題 「とらえどころのない痛みと心身医療
—Painful Depressionについて—」
講師 信州大学医学部 臨床助教授 安曇総合病院
副院長 谷川浩隆
認定講演時間 19:00 - 20:00
問い合わせ先 山田赤十字病院 整形外科 部長 細井 哲
TEL: 0596-28-2171

2006. 2.16 (木)

第3回大阪リウマチ関節外科ゼミナール

開催場所 阪急ターミナルスクエア「ふじ」
(大阪市北区)
単位 1
責任者(代表) 大阪大学医学部 整形外科学教室 教授
古川秀樹
演題 「リウマチ上肢に対する手術療法」
講師 笠岡第一病院 院長 橋詰博行
認定講演時間 19:30 - 20:30
問い合わせ先 大阪大学医学部 整形外科学教室 助教授
菅本一臣
TEL: 06-6879-3552 FAX: 06-6879-3559

2006. 2.17 (金)

第67回福岡リウマチ懇話会

開催場所 三鷹ホール (福岡市)
単位 1
責任者(代表) 近藤リウマチ・整形外科クリニック 院長
近藤正一
演題 「関節リウマチの骨関節破壊
—その機序と対策—」
講師 埼玉医科大学 整形外科学教室 教授 織田弘美

認定講演時間 20:00 - 21:00
問い合わせ先 近藤リウマチ・整形外科クリニック
TEL: 092-762-2380 FAX: 092-762-2379

2006. 2.18 (土)

播磨手の外科症例検討会 特別講演会

開催場所 神戸ポートピアホテル 本館B1F「布引の間」
(神戸市中央区)
単位 1
責任者(代表) 加古川市民病院 整形外科 部長 北澤久也
演題 「母指CM関節症・炎の治療-リウマチ疾患も含む」
講師 広島県立身体障害者リハビリテーションセンター
副医療センター長 水関隆也
認定講演時間 17:00 - 18:00
問い合わせ先 やました整形外科 山下仁司
TEL: 0794-26-8800

2006. 2.18 (土)

第48回 東海膠原病研究会

開催場所 ホテルサンルート名古屋 (名古屋市中村区)
単位 1
責任者(代表) 藤田保健衛生大学病院 リウマチ・感染症内科
教授 吉田俊治
演題 「強皮症の臨床と治療ターゲット」
講師 長崎大学大学院歯学総合研究科 皮膚病態学
教授 佐藤伸一
認定講演時間 17:00 - 18:00
問い合わせ先 三共株式会社 東海第一支店 学術第一課
今井利光
TEL: 052-951-8041

2006. 2.18 (土)

第3回 香川リウマチ研究会

開催場所 全日空ホテル クレメント高松 (香川県高松市)
単位 1
責任者(代表) 宇多津クリニック 内科 倉田典之
演題 「関節リウマチ薬物療法の新展開
—新たなゴールを求めて—」
講師 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター
教授 山中 寿
認定講演時間 19:30 - 20:30
問い合わせ先 武田薬品工業株式会社 香川第一営業所
平林孝司
TEL: 087-851-1611 FAX: 087-851-3654

2006. 2.18 (土)

第25回川崎リウマチカンファレンス

開催場所 ホテル ザ・エルシィ (神奈川県川崎市)
単位 1
責任者(代表) 聖マリアンナ医科大学 総合診療内科 助教授
松田隆秀
演題 「関節リウマチ治療における肺のリスクマネージ
メント」
講師 独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究
センター リウマチ性疾患研究部 部長
富間重人
認定講演時間 18:00 - 19:00
問い合わせ先 聖マリアンナ医科大学 総合診療内科 助教授

松田隆秀
TEL: 044-977-8111 内線 (3640)

2006. 2.18 (土)

第3回三島リュマチフォーラム

開催場所 ホテル日航茨木 (大阪府茨木市)
単 位 1
責任者 (代表) 大阪医科大学 整形外科教室 教授 阿部宗昭
演 題 「小児期のリュマチ性疾患の診断と治療」
講 師 東京女子医科大学附属膠原病リュマチ痛風センター
客員教授 藤川 敏
認定講演時間 18:00 - 19:00
問い合わせ先 武田薬品工業株式会社 大阪支店
マーケティング部 小暮奎次
TEL: 06-6204-2501 FAX: 06-6204-2593

2006. 2.23 (木)

しまね整形外科骨粗鬆症研究会

開催場所 ホテル一畑 (島根県松江市)
単 位 1
責任者 (代表) 島根大学医学部 整形外科 教授 内尾祐司
演 題 「リュマチ性骨粗鬆症」
講 師 鹿児島大学大学院 運動機能修復講座整形外科
教授 小宮節郎
認定講演時間 18:30 - 19:30
問い合わせ先 島根大学医学部 整形外科教室 講師
岩佐潤二
TEL: 0853-20-2241

2006. 2.25 (土)

**平成17年度名古屋市立大学
整形外科開業医会講演会**

開催場所 エーザイ(株) 東海SC 6階ホール (名古屋市東区)
単 位 1
責任者 (代表) 太田整形外科 院長 太田邦昭
演 題 「この18年間に経験した見落としやすい脊椎疾患の
画像診断と治療 (TBCとRAを中心に)」
講 師 公立陶生病院 整形外科部長 櫻井公也
認定講演時間 18:00 - 19:00
問い合わせ先 守山整形外科クリニック 院長 高橋浩成
TEL: 052-739-2525 FAX: 052-739-2505

2006年 3 月の研修会

2006. 3.16 (木)

第9回藤が丘整形外科研修会

開催場所 青葉台フォーラム (横浜市青葉区)
単 位 1
責任者 (代表) 昭和大学藤が丘病院 整形外科 教授 渥美 敬
演 題 「60歳未満のOA股の治療に対する考え方」
講 師 北里大学医学部 整形外科 教授 糸満盛憲
認定講演時間 19:15 - 20:15
問い合わせ先 昭和大学藤が丘病院 整形外科 森島紀子
TEL: 045-974-6365

2006. 3.17 (金)

第38回新潟リュマチ研究会

開催場所 新潟大学医学部有壬記念館 (新潟市)
単 位 1
責任者 (代表) 新潟大学大学院医歯学総合研究科 機能再建医学
講座整形外科学分野 教授 遠藤直人
演 題 「リュマチ性疾患診療のポイント」
講 師 道後温泉病院 理事長 高杉 潔
認定講演時間 19:30 - 20:30
問い合わせ先 新潟大学大学院医歯学総合研究科 機能再建医学
講座整形外科学分野 荒井勝光
TEL: 025-227-2272 FAX: 025-227-0782

2006. 3.18 (土)

**兵庫医大整形外科開業医会学術講演会
(第七回)**

開催場所 生田神社会館 (神戸市中央区)
単 位 1
責任者 (代表) 塩田整形外科 院長 塩田 誠
演 題 「日常診断に役立つ骨軟部腫瘍の診断」
講 師 兵庫医科大学医学部 整形外科 講師 魅谷博之
認定講演時間 16:15 - 17:15
問い合わせ先 敬誠会 合志病院 整形外科 富永浩司
TEL: 06-6488-1601 FAX: 06-6488-1941

2006. 3.23 (木)

第4回疼痛性疾患治療研究会

開催場所 リーガロイヤルホテル小倉 (福岡県北九州市)
単 位 1
責任者 (代表) 産業医科大学 整形外科 教授 中村利孝
演 題 「関節リュマチの骨・軟骨破壊に関与する因子と
その制御による治療」
講 師 兵庫医科大学内科学講座リュマチ・膠原病科
教授 佐野 統
認定講演時間 18:30 - 19:30
問い合わせ先 産業医科大学整形外科 中村由美
TEL: 093-691-7258

2006. 3.24 (金)

第30回 瑞穂卒後研修セミナー

開催場所 名古屋東急ホテル (名古屋市)
単 位 1
責任者 (代表) 名古屋市立大学大学院医学研究科 社会復帰医学講座
筋・骨格系医学 教授 大塚隆信
演 題 「上肢の絞扼性神経障害について」
講 師 筑波大学大学院人間総合科学研究科 教授 落合直之
認定講演時間 19:00 - 20:00
問い合わせ先 名古屋市立大学大学院医学研究科 社会復帰医学講座
筋・骨格系医学 学内講師 福岡宗良
TEL: 052-853-8236

最新の情報は、学会ホームページでご覧下さい。
URL: <http://www.ryumachi-jp.com>

Santen



Together

抗リウマチ剤

薬価基準収載

創薬、指定医薬品、処方せん医薬品
(注意—医師等の処方せんにより使用すること)

メトレート錠2mg
Metolate® tablets 2mg

メトトレキサート錠

■〔効能・効果〕、〔用法・用量〕、〔警告、禁忌を含む使用上の注意〕等については、添付文書をご参照下さい。

抗リウマチ剤

薬価基準収載

創薬、指定医薬品、処方せん医薬品
(注意—医師等の処方せんにより使用すること)

リマチル錠100mg
Rimatil® tablets 100mg

ピシラミン100mg錠

創薬、指定医薬品、処方せん医薬品
(注意—医師等の処方せんにより使用すること)

リマチル錠50mg
Rimatil® tablets 50mg

ピシラミン50mg錠

■〔効能・効果〕、〔用法・用量〕、〔禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意〕等については、添付文書をご参照下さい。

製造販売元
S 参天製薬株式会社
大阪府東淀川区下新庄3-9-19
資料請求先 医薬事業部 医薬情報室

抗リウマチ剤

薬価基準収載

指定医薬品、処方せん医薬品
(注意—医師等の処方せんにより使用すること)

アザルフィジンEN錠
Azulfidine® EN tablets

サラソスルファピリジン500mg腸溶錠

指定医薬品、処方せん医薬品
(注意—医師等の処方せんにより使用すること)

アザルフィジンEN錠250mg
Azulfidine® EN tablets 250mg

サラソスルファピリジン250mg腸溶錠

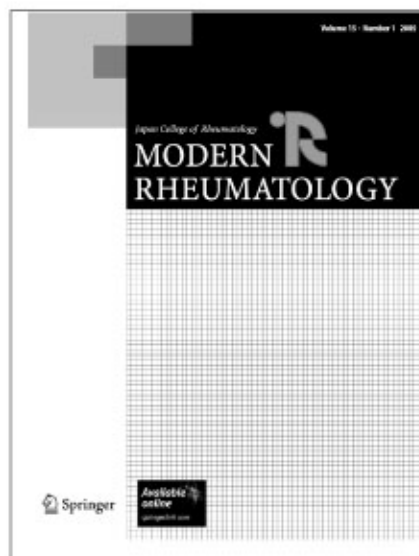
■〔効能・効果〕、〔用法・用量〕、〔禁忌を含む使用上の注意〕等については、添付文書をご参照下さい。

発売
S 参天製薬株式会社
大阪府東淀川区下新庄3-9-19
資料請求先 医薬事業部 医薬情報室

製造販売
Pfizer ファイザー株式会社
東京都渋谷区代々木3-22-7

2005年6月作成
3MTL05FB5

(中)日本リウマチ学会の英文誌 (Modern Rheumatology) 投稿・発行規定 (2005年1月5日改訂)



(2005年15-1号からのMR新表紙)

■目的と内容

Modern Rheumatologyはリウマチ学および病理学、生理学、臨床免疫学、微生物学、生化学、実験動物学、薬理学等の関連分野におけるオリジナル論文を英文で掲載する。

症例報告および広く読者に関心を持たれるテーマに関する綜説も受け付ける。また、内容が独創的かつ明快で、科学的価値の高い小論文も掲載を考慮する。

LetterはModern Rheumatologyの既掲載論文およびリウマチ学、有限責任中間法人日本リウマチ学会に関する事項に対するコメントに限る。速報は症例または研究上の知見に関するごく短い報告とし、抄録は付けない。

その他の記事も編集委員会の判断により掲載する。

論文は本学会の会員を問わず受け付ける。

年6号発行する。原稿は電子メールで、常時受け付ける。

■投稿条件

著者は、提出論文の内容のいかなる部分も未出版であること(ただし、抄録の形式で、または出版物になった講義、解説記事、学位論文の一部は可とする)、また、他の出版物への掲載予定のないことを誓約しなければならない。他の著作物からの直接引用や図表を含めざるをえない場合には、それらの著者と著作権保持者からの英文での使用許可を提出論文に添付する。

提出論文が査読後受理された場合、その著作権を有限責任中間法人日本リウマチ学会とシュプリンガー・フェアラーク東京株に自動的に譲渡すること、また論文あるいはその一部が言語の如何を問わず、著作権保持者の許可なく他の出版物に掲載されないことを誓約する。

ヒトを対象とした人体調査は、投稿者の所属機関または地域の倫理審査委員会が人体実験について定める倫理規範、もしくはヘルシンキ宣言(1964年採択)とその改訂条項(1975年改正、2000年修正)の精神を遵守する。また全ての患者対し、インフォームド・コンセントを得ること、プライバシーの保護などに関する倫理的問題に十分配慮する。

動物実験における動物の取り扱いにおいても、投稿者の所属機関の倫理審査委員会が定める倫理規範、もしくは米国学術研究会議National Research Council(NRC)の規範「No. 86-23」(National Institute of Health 出版物)に従う。利益相反 (Conflict of Interests) の恐れがある、いかなる金銭的・或いは個人的関係について情報公開する必要があり、論文投稿における謝辞の項目には、そのような関係をすべて宣言する。

論文の著者及び共著者は、投稿原稿が他で一切発表されていないことを誓約する文書を、全員署名の上、提出する。

■原稿形式

原稿は英文で記述し、抄録、本文、謝辞、文献、図説、表を含めA4サイズにダブルスペースで作成する。各パートは改頁し、前記の順に原稿ナンバーをつける。

英文は英語を母国語とする研究者が読んで正確に理解できるものであること。校閲者から英文の改善を求められた場合は、英語を母国語とし関連分野に詳しい者の校閲を受けること。この場合、編集委員会が斡旋する人の校閲を受けることが出来る。ただし、その費用は著者負担とする。

標準的な略語や単位を使用する。略語は初出の際にスペルアウトする。略語は標題では使用しない。薬品や化学物質は一般名を使用する。

著者は、本文、図表を含む論文原稿を電子メールに添付して、下記Eメールアドレスへ電子投稿する。投稿論文の原稿は返却しない。

Email: MR@ryumachi-jp.com

■原稿枚数

原著および綜説は、30枚以内とする。(抄録、文献、図表を含む) 症例は、文献を含め20枚以内とする。(抄録、文献、図表を含む) 図表は1点につき原稿1枚と換算する。

刷り上りが16ページを越えた場合には、その費用を請求される。Letterおよび速報は文献を含め4枚以内とし、抄録は付さない。

■表紙

表紙には、論文の種類(原著、症例等)、標題、全著者名、著者の所属とその住所、本文枚数、図説、図表の点数を記載する。さらに、5語までのキーワード(アルファベット順に)、連絡先となる著者名や住所・電話番号・ファックス番号・e-mailアドレス、必要があれば編集委員会へのコメントを記載する。

■抄録

原著は、目的、方法、結果、結論を200語以内で簡潔に記述する。

症例、綜説は各々75語、200語以内とする。

抄録中に小見出しは付けない。

■本文

実験的な内容の論文については、Introduction, Materials and Methods, Results, Discussionの構成で記述する。

■表

表は本文中で引用され、アラビア数字で出現順に番号を付ける。各表は個々に改頁し、簡潔な題をつける。表中で使われている主要な略語を表の脚注で説明する。

■図

図は本文中で引用され、アラビア数字で出現順に番号を付ける。各図には簡潔な図説を付ける。図説は本文の後に、図とは別に一括して記載する。

図はコラムの幅(8.6cm)または印刷領域(17.6×23.6cm)に合わせた大きさにする。組み合わせの図は、印刷領域を越えない範囲(図説も考慮する)でまとめる。その際図番号を明記する。

カラー図は受け付けるが、著者はその費用を請求される(カラーページ1ページ目¥110,000、2ページ目以降は1ページ当たり¥60,000)。カラー図はカラー、白黒いずれでの印刷を希望するか表紙に記載する。

図や写真の電子画像送信も論文のオンライン審査用に受け付けるが、著者は掲載通知を受領後、各号に掲載されている出版社の電子投稿のスペックに従い、出版用の電子画像を提出する。

〈線 画〉

最終的に印刷を希望する大きさで鮮明であること。文字は明瞭で読みやすくする。

〈ハーフトーン図(写真を含む)〉

適切なコントラストで、的確な角度と最終的な印刷サイズで提出する。

光学顕微鏡写真の場合、図説中に染色法を示す。電子顕微鏡写真は寸法を示すために写真中にバーを入れ、図説中でそのバーの数値と単位を示す。

■文 献

文献はアルファベット順ではなく、本文中での出現順に番号付ける。文献データは、著者の責任をもって、正確に記載する。

私信や未出版データは文献リストに含めるべきではないが、本文中に括弧付きで引用することができる。(例:A, Aoki 1999 personal communication)それが他者のものである場合は、直接の引用を認める著者の署名入り手紙を提出する。

他誌に掲載受理されていて未出版の論文は文献リストに含めることはできるが、括弧付きで“In press”と記載する。

文献リストには、引用該当ページおよび最初の6人までの著者名を、それを超える場合は“et al”を付す。雑誌名はIndex Medicusに準じる。日本語で書かれた論文は、(雑誌)2、の形式による。文献は本文中では上付き文字で引用する；

[例] Ames et al. 1 reported...

〈雑 誌〉

1. Ames PRJ, Lupoli S, Alves J, Atsumi T, Edwards C, Iannaccone L, et al. The coagulation/fibrinolysis balance in systemic sclerosis: evidence for hematological stress syndrome. *Br J Rheumatol* 1997; 36: 1045 - 50.

2. Kamihara S. Case of Sjogren syndrome associated with idiopathic monoclonal IgA rheumatoid factor and pyroglobulinemia (in Japanese). *Rinsho Ketsueki*. In press.

〈単行本〉

3. Cassidy JT. Systemic lupus erythematosus, juvenile dermatomyositis, scleroderma, and vasculitis. In: Kelly WN, Harris ED Jr, Ruddy S, Sledge CB, editors. *Textbook of rheumatology*. 5th ed. Philadelphia: WB Saunders; 1997. p. 1241-64.

〈Proceeding〉

4. Bengtsson S, Solheim BG. Enforcement of data protection, privacy and security in medical informatics. In: Lun KC, Degoulet P, Piemme TE, Rienhoff O, editors. *MEDINFO 92. Proceedings of the 7th World Congress on Medical Informatics*; 1992 Sep 6-10; Geneva, Switzerland. Amsterdam: North-Holland; 1992. p. 1561-5.

■別 刷

著者には別刷30部を無料で提供する。それ以上の部数が必要な場合には、100部までは50部単位で、100部以上は100部単位で注文を受け付ける。

■論文審査

提出された論文は、少なくとも2人のレフリーと編集委員により審査され、必要な場合には言語および内容について訂正を求める。編集委員は論文の採否および掲載順序を決定する。

論文の訂正と再提出を求められた場合、2ヶ月以内の再投稿が義務づけられる。著者がそれに応じない場合は、論文掲載を辞退したものとみなされる。

原稿送付先および問い合わせ先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目1番24
第1オカモトヤビル9階

有限責任中間法人 日本リウマチ学会

Modern Rheumatology編集委員会

Tel 03-5251-5353 Fax03-5251-5354

Email: MR@ryumachi-jp.com

URL: <http://www.ryumachi-jp.com/publish/mr.html>

MR編集委員長からのお願い

有限責任中間法人日本リウマチ学会の英文誌Modern Rheumatology (MR)は、インパクトファクターをつけることを目指しています。紙媒体ではなかなか引用されにくい状況を考慮いたしまして、過去5年間に掲載されたMRへの論文abstractsを全て学会ホームページに掲載いたしました。

学会ホームページのトップページにある「会員のページ」をクリックして、「会員のページ(会員専用ページ)」に入ります。「学会誌・刊行物」をクリックしますと、「Modern Rheumatology」のバックナンバーの一覧と各年のkey-words indexとauthors index一覧がご覧いただけますので、論文を書く際は出来る限り、Modern Rheumatologyから引用していただくよう会員の皆様にお願ひ申し上げます。

Modern Rheumatology 編集委員長 三森経世

薬価基準収載

経皮複合消炎剤

モビラート[®]軟膏

Mobilat[®]

Mobilat



● 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売

maruho

[資料請求先]

マルホ株式会社

大阪市北区中津1-5-22 〒531-0071

(2004.6作成)

血清中の抗ガラクトース欠損IgG抗体測定用医薬品

[検体検査実施料収載]

日本標準商品分類番号 877449

ピコルミ[®] CA・RF

体外診断用医薬品

承認番号 21100AMZ00670000

〈電気化学発光免疫測定法—ECLIA法〉




RAの早期診断補助に

【特性】

- 1 早期RA患者において、従来のリウマトイド因子(RF)測定法に比較し、優れた陽性率です。
- 2 従来のRF測定法で陰性のセロネガティブRA患者でも陽性率が高く有用です。
- 3 RA患者の症状改善、悪化に伴い従来法に比べて測定値が有意に変動します。
- 4 ピコルミCA・RFは自動測定が可能であり、広い測定レンジ(1~500AU/mL)を短い時間(反応時間約20分)で測定できます。
- 5 ピコルミCA・RFはエイテストCA・RF(EIA法)と良く相関します。

※効能・効果、操作法、使用上の注意については添付文書をご参照下さい。

製造販売元  **三光純薬株式会社**
東京都千代田区岩本町1-10-6

販売提携  **エーザイ株式会社**
東京都文京区小石川4-6-10
<http://www.eisai.co.jp>

資料請求先：三光純薬株式会社 品質薬事部 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-6 エーザイ株式会社 お客様ホットライン室 〒112-8088 東京都文京区小石川5-5-5

2005年6月作成
RC0506-2

[検体検査実施料収載]

日本標準商品分類番号 877449

体外診断用医薬品

承認番号 21100AMZ00542000

間質性肺炎に特異性の高い 血清マーカー

KL-6

血清中シアル化糖鎖抗原KL-6測定用医薬品

ピコルミ[®] KL-6 Picolumi[®] KL-6

〈電気化学発光免疫測定法〉




特性

1. 間質性肺炎に特異性が高く、他疾患との鑑別診断に優れます。
2. 活動性の間質性肺炎では、非活動性に比べ高値に分布します。
3. 間質性肺炎の症状改善、悪化に伴い有意に測定値が変動します。
4. ピコルミKL-6は自動測定が可能であり、1回の測定で広い測定レンジ(51~10200U/mL)を短い時間(反応時間約20分)で測定できます。
5. ピコルミKL-6は、エイテストKL-6(EIA法)と良く相関します。

※効能・効果、操作法、使用上の注意については添付文書をご参照下さい。

製造販売元  **三光純薬株式会社**
東京都千代田区岩本町1-10-6

販売提携  **エーザイ株式会社**
東京都文京区小石川4-6-10

商品情報お問い合わせ先: 三光純薬株式会社 商品情報係 ☎03-3863-3271 / エーザイ株式会社 お客様ホットライン室 ☎0120-419-497

2005年8月作成
KL0508-1



持続性抗炎症・鎮痛剤 《ナブメトン錠》

指定医薬品
レリフエン®錠
RELIFEN RELIFEN 400 薬価基準収載

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意につきましては添付文書をご参照ください。

製造販売元
株式会社 三和化学研究所
SKK 本社/名古屋市東区東外堀町25番地 〒461-8631
●ホームページ <http://www.skk-net.com/>
提携 グラクソ・スミスクライン株式会社

資料請求先・問い合わせ先
コンタクトセンター
☎0120-19-8130
受付時間 月～金 9:00～17:00(土日休)

2003年7月作成



Quality Health Care Worldwide

アボット ジャパン株式会社

本社 東京都港区六本木1-9-9
医薬品事業部本社 大阪府中央区城見2-2-53

- 巻頭言
日本リウマチ学会と私……………小川 亮恵… 1
- 第50回(中)日本リウマチ学会総会・学術集会
第15回国際リウマチシンポジウム……………2~4
- コラム
新潟県中越地震と防災……………羽生 忠正…5
- INFORMATION
(中)日本リウマチ学会『教育施設』一覧……………6~12
- 各委員会報告……………14~16
2005年第3回・第4回理事会報告／学会誌MR編集委員会報告／JCR医学用語委員会報告／JCR専門医資格認定委員会報告／JCR国際委員会報告
JCR将来構想委員会報告／JCR生涯教育委員会報告／JCR情報化委員会報告／レフルノミド肺障害調査検討小委員会報告／JCR小児リウマチ委員会報告
- 各支部だより 中部支部／近畿支部……………18~19
- ACR大会参加報告……………平形 道人…20
- APLAR2006のご案内……………西岡 久寿樹…21
- 海外留学体験記……………高橋 令子…22
- JCR会員が会長を務めた学会・研究会……………原 まさ子…23
- お知らせ 学会が認定した教育研修会または講演会……………24~28
- 英文学会誌 *Modern Rheumatology (MR)* 投稿・発行規定……………30~31
MR編集委員長からのお願い 三森 経世
- 目次・奥付……………36

(中)日本リウマチ学会ホームページ 「会員専用ページ」のご案内

学会ホームページの「会員専用ページ」よりニュースレターのバックナンバーをはじめ会員向けの情報をご覧いただけます。(正会員のみに)

なお、初めて「会員専用ページ」にログインするには、まずパスワードの登録が必要です。ホームページの記述に従いパスワードの登録を行なってください。

URL: <http://www.ryumachi-jp.com/>



- 情報化委員会 担当理事：澤井高志
(順不同) ニュースレター小委員長：天野宏一／委員：諏訪 昭・田中真希・中島亜矢子

ニュースレター 2005年・第8号 発行日2005年12月15日
 発行者 有限責任中間法人 日本リウマチ学会
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-24 オカモトヤビル9F
 TEL.03-5251-5353 FAX.03-5251-5354
 E-mail gakkaim@ryumachi-jp.com URL <http://www.ryumachi-jp.com>
 デザイン・制作 クリエイトM2 〒101-0065 東京都千代田区西神田2-7-5
 TEL.03-5215-6560 FAX.03-5215-6560 E-mail creat-m2@sea.plala.or.jp
 印刷社 山下印刷(有) 〒105-0003 東京都港区西新橋1-21-4
 TEL.03-3591-1025 FAX.03-3591-0846

全例調査(承認条件)

新発売



完全ヒト型可溶性TNF α /LT α レセプター製剤 薬価基準収載

エンブレル[®]皮下注用25mg

ENBREL[®] 25mg for S.C. Injection エタネルセプト(遺伝子組換え)製剤

生物由来製品 劇薬 指定医薬品 処方せん医薬品^(注) 注)注意—医師等の処方せんにより使用すること

注意 効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

Wyeth

製造販売元
ワイズ株式会社
〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目10番3号
<http://www.wyeth.jp/>

販売
武田薬品工業株式会社
〒540-0045 大阪市中央区道修町四丁目1番1号
<http://www.takeda.co.jp/>

資料請求先: ワイズ株式会社 ワイズくすりの情報室 〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目10番3号

2005年5月作成

REMICADE



抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤

薬価基準収載

レミケード®点滴静注用100

REMICADE® for I.V. Infusion100

インフリキシマブ(遺伝子組換え)製剤

生物由来製品 | 新薬 | 指定医薬品 | 処方せん医薬品 (注意-医師等の処方せんにより使用すること)

※ 効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。



輸入販売元(資料請求先)

田辺製薬株式会社

〒541-8505 大阪市中央区道修町3丁目2番10号
<http://www.tanabe.co.jp/>



製造元

Centocor

マルバーン/ペンシルバニア州(アメリカ)

2005年4月作成